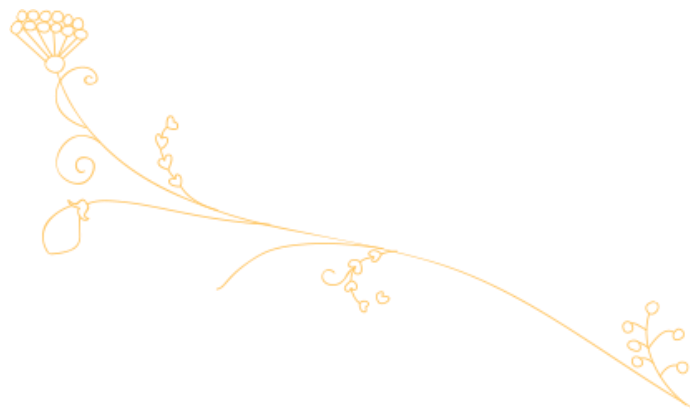




2025年12月期第3四半期決算説明資料

2025年10月
株式会社セレス（東証プライム市場：3696）



INDEX

1. 連結決算の概要

2. 各事業の業績

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

APPENDIX



1. 連結決算の概要

2025年度第3四半期累計 実績

売上高	22,268 百万円	(+10.1%)	■ 売上高はD2C減収だが、ポイント大幅増収により前年比+10.1%
営業利益	1,943 百万円	(+35.9%)	■ 営業利益は1Q暗号資産相場低迷の影響があるもポイント大幅増益で前年比+35.9%
経常利益	1,823 百万円	(+19.6%)	
当期純利益	2,391 百万円	(+182.8%)	■ ゆめみ株式譲渡による特別利益を約27億円計上

モバイルサービス事業

売上高	21,136 百万円	(+10.3%)	■ ポイントはモッピーの金融案件好調で増収増益
営業利益	3,734 百万円	(+22.3%)	■ D2Cは主力の「ピットソール」販売減速及び、一部商品に対する評価損計上により減収減益

DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

フィナンシャルサービス事業

売上高	1,143 百万円	(+7.3%)	■ マーキュリーは1Qの評価損の影響で減収減益
営業利益	▲740 百万円	(-)	■ ラボルはファクタリング好調でGMV2.3倍、売上高は前年比+85.6%

※ () 内は「前年比」

ポジティブ

ポイントサイト 前年比大幅増収

2024年3Q 売上高

30.1億円



+40.1%

2025年3Q 売上高

42.2億円

- モッピーは金融案件好調により大幅増収
- 買収したPoint Incomeが9月1日より連結化。売上高2.4億円計上

暗号資産関連 前年比収益回復

MQ営業収益

YoY+1.3億円

BB持分法投資損益

YoY+4.1億円

- マーキュリーは暗号資産相場回復により収益改善
- ビットバンクは持分法利益2.7億円計上（前年▲1.4億円）

ラボル 前年比増収増益

GMV

YoY2.3倍

資金調達実施総額

約32億円

- 新規ユーザー獲得と旺盛なリピート需要によりGMVが継続的に拡大
- エクイティと借入で累計約32億円を調達。M&A・AI技術研究開発・人的基盤強化に充てる

ネガティブ

D2C 前年比減収減益

2025年3Q 売上高

12.2億円

(YoY▲36.7%)

2025年3Q 営業損益

▲3,600万円

(YoY▲2.8億円)

- 主力の「ピットソール」の価格改定によるプロモ見直しによる減収
- 一部商品在庫に対する評価損の計上による減益

損益計算書の概要（第3四半期累計）

（単位：百万円）	2025年12月期 第3四半期累計	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	22,268 (100.0%)	20,218 (100.0%)	+10.1%
売上総利益	9,863 (44.3%)	9,726 (48.1%)	+1.4%
販売費及び一般管理費	7,919 (35.6%)	8,296 (41.0%)	-4.5%
営業利益	1,943 (8.7%)	1,429 (7.1%)	+35.9%
経常利益	1,823 (8.2%)	1,524 (7.5%)	+19.6%
当期純利益※1	2,391 (10.7%)	845 (4.2%)	+182.8%
EBITDA※2	4,913 (22.1%)	1,831 (9.1%)	+168.3%

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ9か月分を、2025年12月期業績は同6か月分をそれぞれ含みます

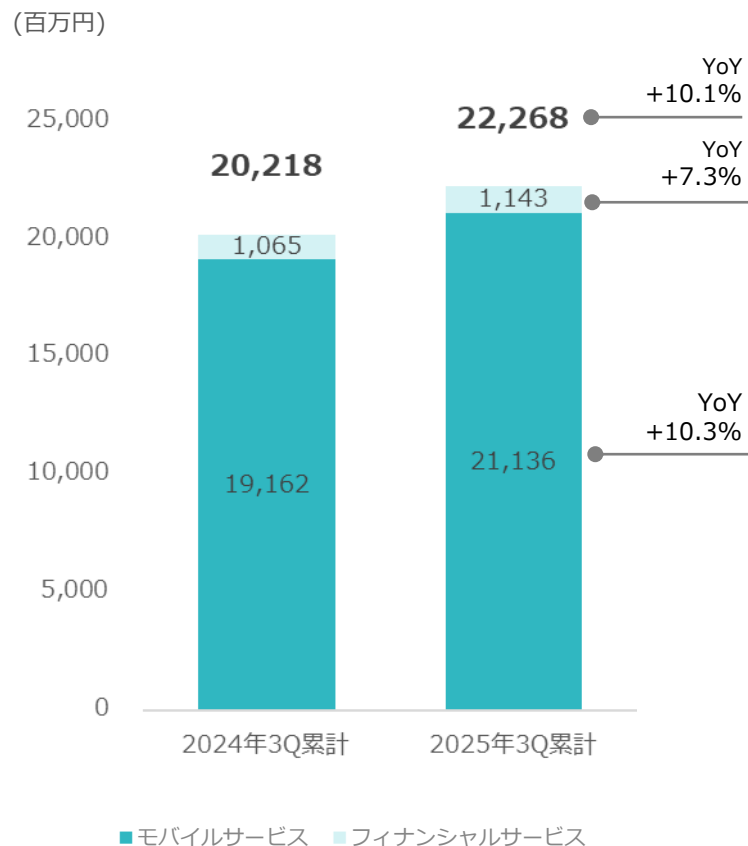
※1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

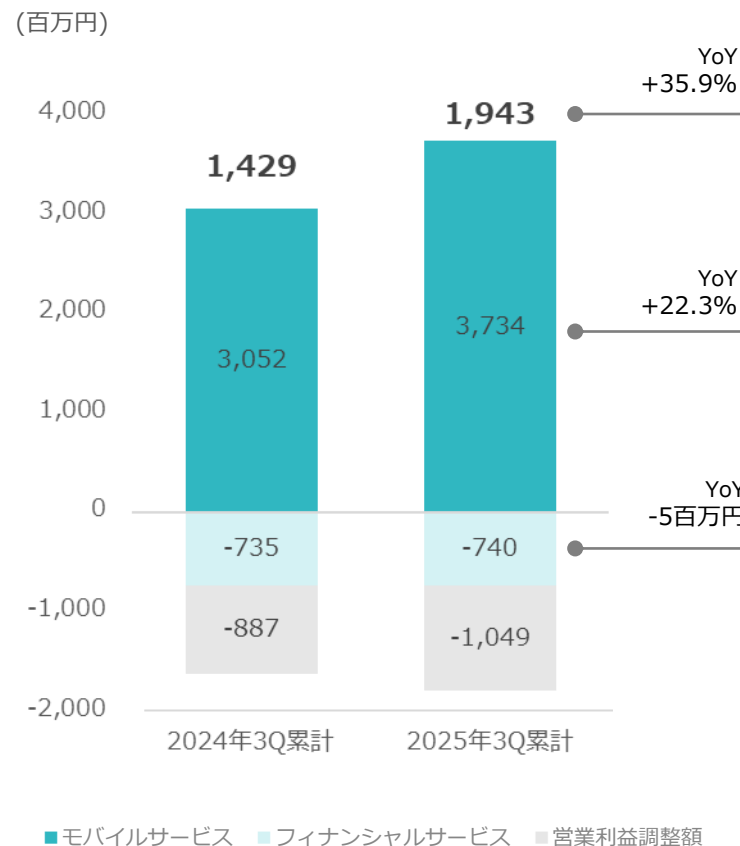
セグメント情報（第3四半期累計）

モバイルはポイントが好調継続し、ゆめみを連結除外後も増収増益を維持
フィナンシャルはラボルがGMV2.3倍で大幅増収、先行投資しつつも利益横ばい

売上高



営業利益



※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

セグメント別業績（第3四半期累計）

(単位：百万円)	売上高		営業利益	
	2025年12月期 第3四半期累計	2024年12月期 第3四半期累計	2025年12月期 第3四半期累計	2024年12月期 第3四半期累計
全社	22,268 YOY +10.1%	20,218	1,943 YOY +35.9%	1,429
モバイルサービス事業	21,136 YOY +10.3%	19,162	3,734 YOY +22.3%	3,052
ポイント	14,218 YOY +35.7%	10,480	3,122 YOY +37.5%	2,271
D2C	3,862 YOY -29.0%	5,437	140 YOY -81.0%	738
DX	3,153 -	3,354	599 -	139
セグメント内取引高	-97 YOY -	-109	-128 YOY -	-96
フィナンシャルサービス事業	1,143 YOY +7.3%	1,065	-740 YOY -	-735
セグメント間取引高 / 調整額	-10 YOY -	-9	-1,049 YOY -	-887

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ9か月分を、2025年12月期業績は同6か月分をそれぞれ含みます

営業利益・経常利益の増減要因（第3四半期累計）

（百万円）

営業利益

2024年12月期
3Q累計営業利益

1,429

ポイント

- ・ モッピー大幅増益

851

D2C

▲598

- ・ ピットソール販売減速

DX

460

- ・ 稼働率改善
- ・ 3Q以降は連結除外

マーキュリー

▲61

ラボル

106

- ・ ファクタリング好調

CVC

▲51

調整額等

▲193

2025年12月期
3Q累計営業利益

1,943

YoY
+513
(+35.9%)

経常利益

2024年12月期
3Q累計経常利益

1,524

営業損益

513

- ・ 前年95百万円→▲86百万円
- ・ 1Q暗号資産相場低迷の影響

持分法投資損益
(ビットバンク)

▲182

その他営業外損益

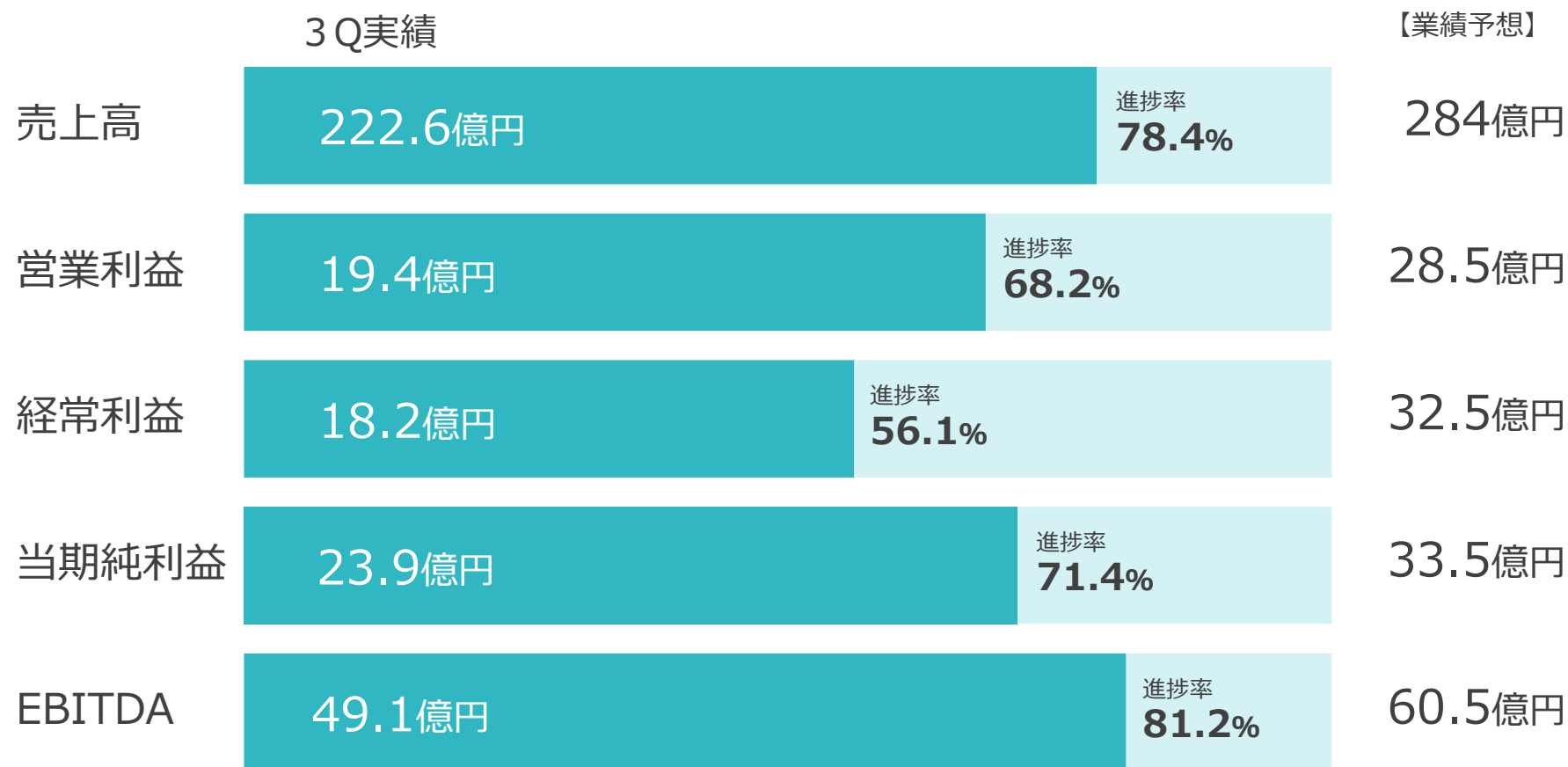
▲31

2025年12月期
3Q累計経常利益

1,823

YoY
+299
(+19.6%)

売上高はポイントがけん引し好調、営業利益はD2C・MQが業績予想比下振れ
経常利益は1Qの暗号資産相場低迷の影響残り、累計では持分法投資損失計上



損益計算書の概要（第3四半期）

（単位：百万円）	第3四半期 （2025年7-9月）	前年同期 （2024年7-9月）	前年同期比	前四半期 （2025年4-6月）	前四半期比
売上高	6,414 (100.0%)	7,066 (100.0%)	-9.2%	8,168 (100.0%)	-21.5%
売上総利益	3,011 (47.0%)	3,487 (49.3%)	-13.6%	3,556 (43.5%)	-15.3%
販売費及び 一般管理費	2,529 (39.4%)	2,868 (40.6%)	-11.8%	2,954 (36.2%)	-14.4%
営業利益	481 (7.5%)	618 (8.8%)	-22.1%	601 (7.4%)	-19.8%
経常利益	754 (11.8%)	454 (6.4%)	+66.2%	715 (8.8%)	+5.5%
四半期純利益※1	839 (13.1%)	172 (2.4%)	+386.4%	1,609 (19.7%)	-47.9%
EBITDA※2	1,350 (21.1%)	591 (8.4%)	+128.5%	3,079 (37.7%)	-56.1%

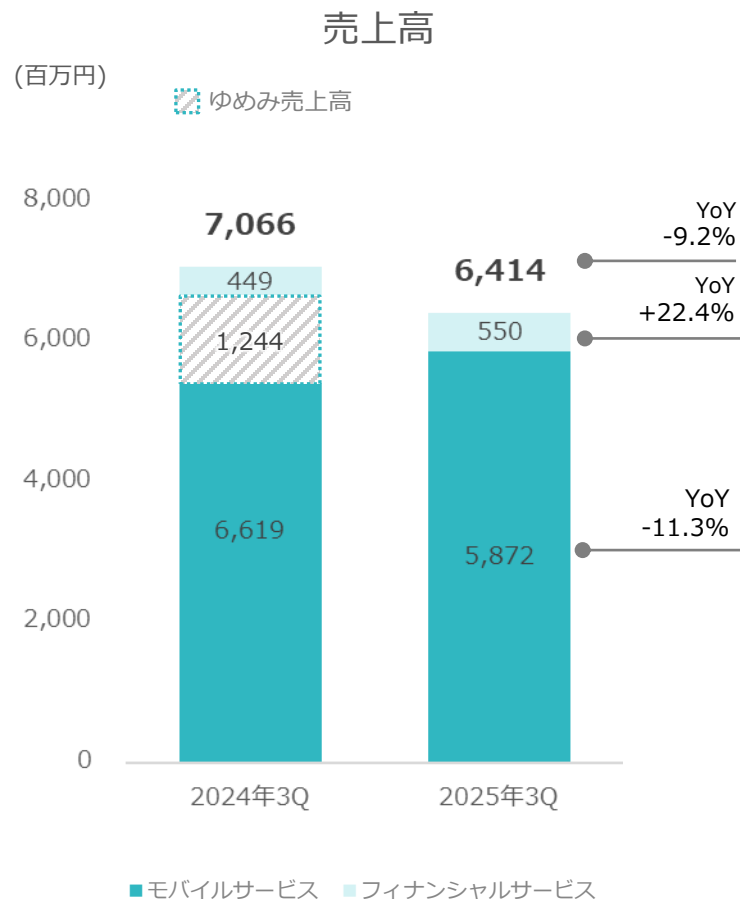
ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ3か月分を含みますが、2025年12月期業績には連結除外により含まれていません

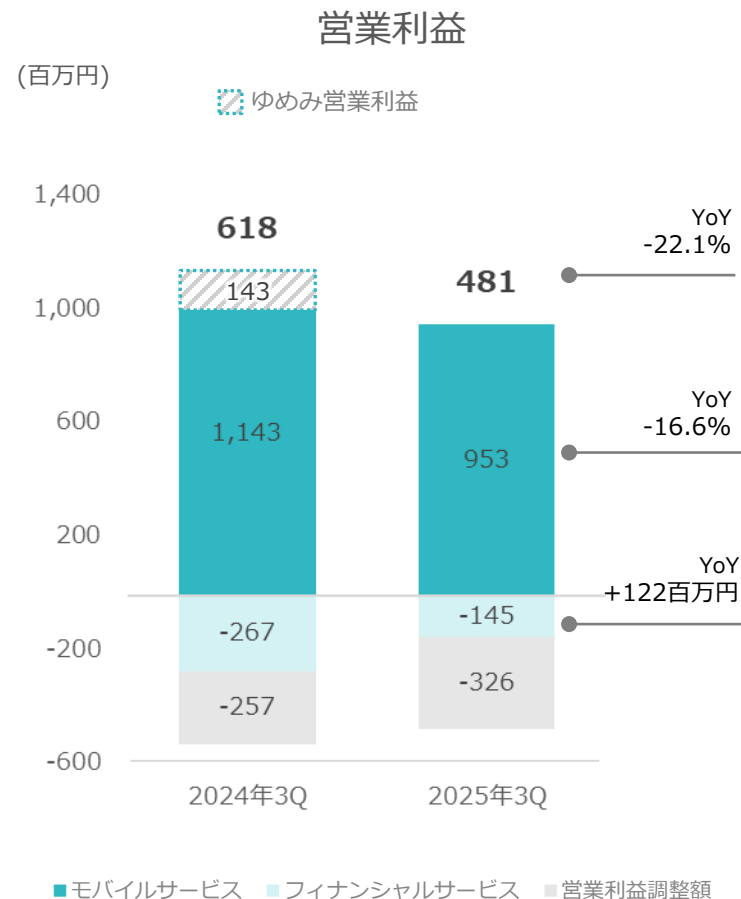
※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

モバイルはポイント大幅増収増益も、D2C減速・ゆめみ連結除外の影響で減収減益
 フィナンシャルはラボル顧客獲得好調、MQ収益改善で増収・赤字幅縮小



※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
 ※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。



※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。
 ※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

セグメント別業績（第3四半期）

(単位：百万円)	売上高		営業利益	
	第3四半期 (2025年7-9月)	前年同期 (2024年7-9月)	第3四半期 (2025年7-9月)	前年同期 (2024年7-9月)
全社	6,414 YOY -9.2%	7,066	481 YOY -22.1%	618
モバイルサービス事業	5,872 YOY -11.3%	6,619	953 YOY -16.6%	1,143
ポイント	4,732 YOY +36.3%	3,473	1,033 YOY +31.8%	784
D2C	1,225 YOY -36.7%	1,937	-36 YOY -	248
DX	- YOY -	1,244	- YOY -	143
セグメント内取引高	-85 YOY -	-35	-43 YOY -	-32
フィナンシャルサービス事業	550 YOY +22.4%	449	-145 YOY -	-267
セグメント間取引高 / 調整額	-8 YOY -	-2	-326 YOY -	-257

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ3か月分を含みますが、2025年12月期業績には連結除外により含まれていません

営業利益・経常利益の増減要因（第3四半期）

（百万円）

営業利益

2024年12月期
3Q営業利益

ポイント

D2C

DX

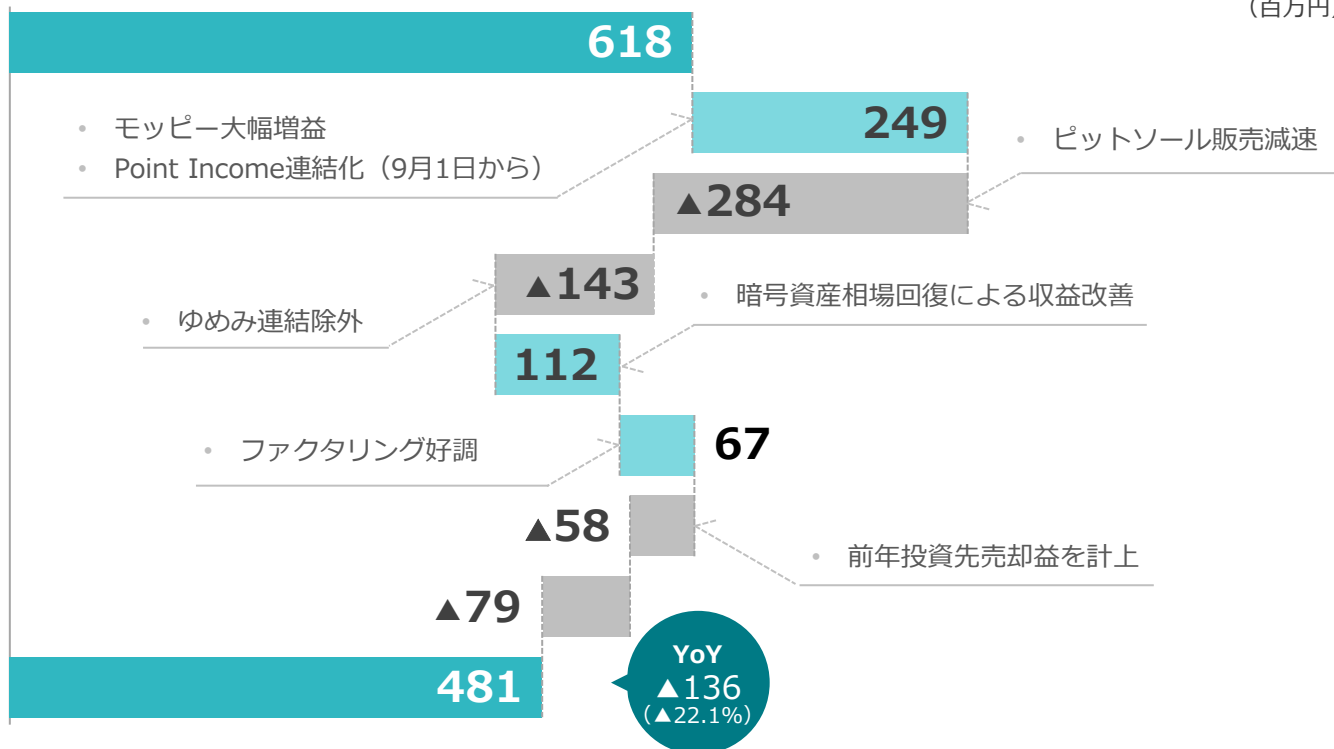
マーキュリー

ラボル

CVC

調整額等

2025年12月期
3Q営業利益



経常利益

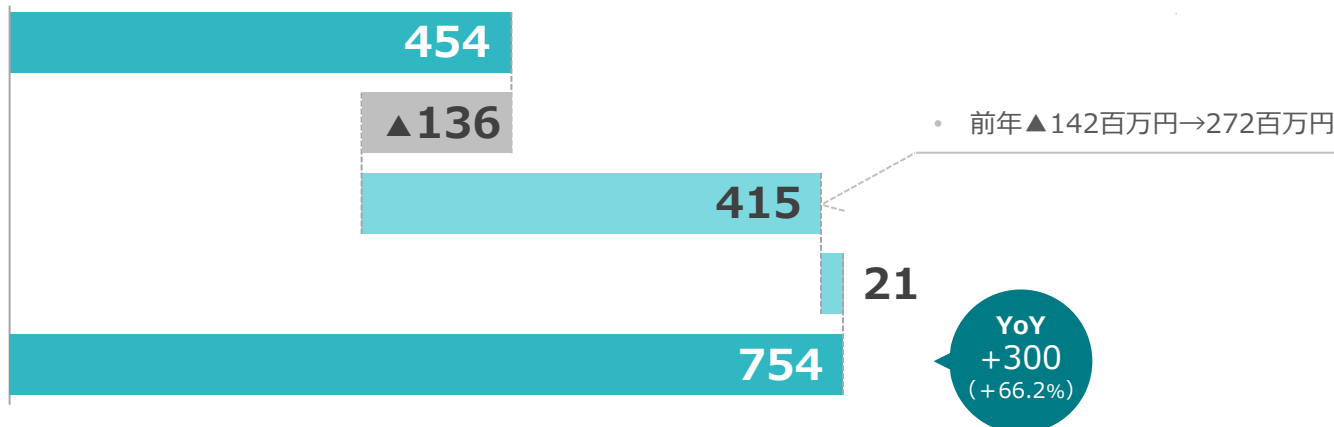
2024年12月期
3Q経常利益

営業損益

持分法投資損益
（ビットバンク）

その他営業外損益

2025年12月期
3Q経常利益



貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2025年12月期 第3四半期末	2024年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	流動資産	25,017 (67.0%)	23,850 (72.3%)	+1,167	現金及び預金 +1,191 商品在庫及び製品 -71
	固定資産	12,318 (33.0%)	9,125 (27.7%)	+3,192	のれん +1,390 関係会社株式 -159
資産合計		37,336 (100.0%)	32,976 (100.0%)	+4,360	
流動負債	流動負債	20,017 (53.6%)	16,852 (51.1%)	+3,165	短期借入金※ +30 未払法人税等 +1,023 ポイント引当金 +2,531
	固定負債	3,436 (9.2%)	3,402 (10.3%)	+33	長期借入金 +3
負債合計		23,454 (62.8%)	20,254 (61.4%)	+3,199	
純資産合計		13,881 (37.2%)	12,721 (38.6%)	+1,160	当期純利益 +2,391 配当金 -690
負債・純資産合計		37,336 (100.0%)	32,976 (100.0%)	+4,360	

ポイント引当金 増加要因

モッピー +912
Point Income +1,619

※短期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含みます。

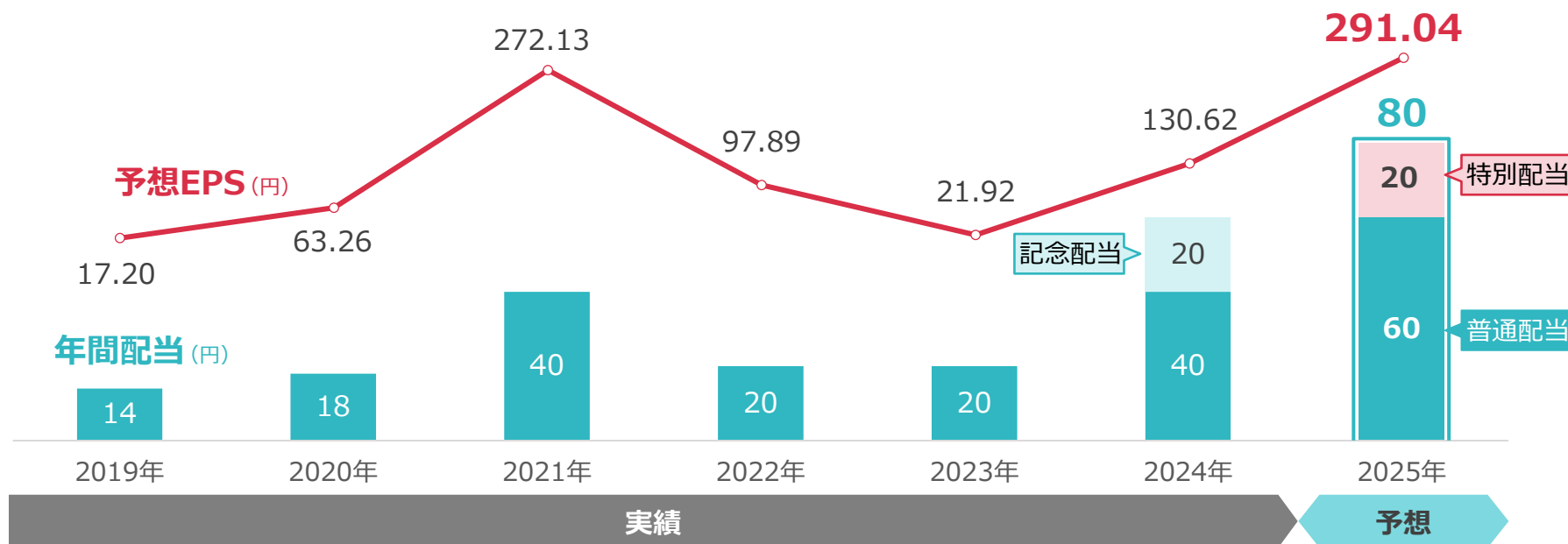
配当について

株主還元の方針

- 当社は株主に対する利益還元を重要な経営方針の一つと認識
- 配当の安定性を重視しつつ、業績動向・財務状況等を総合的に勘案して実施

2025年12月期は、ゆめみ株式の売却益による利益増で株主還元を強化

- 期初予想の配当60円に加え特別配当20円を発表、合計80円を配当予定
- EPS成長に伴い2期連続増配を実施



株主優待について

実施の目的

- 株主に当社グループのサービス体験を通し、事業理解を一層深めていただく

制度の内容

- 暗号資産（ETH及びZPG）を贈呈。贈呈数は保有株式数に応じて決まる
- 2025年12月31日時点で当社株式1単位（100株）以上保有し、株主本人名義のCoinTrade口座を保有している方が対象

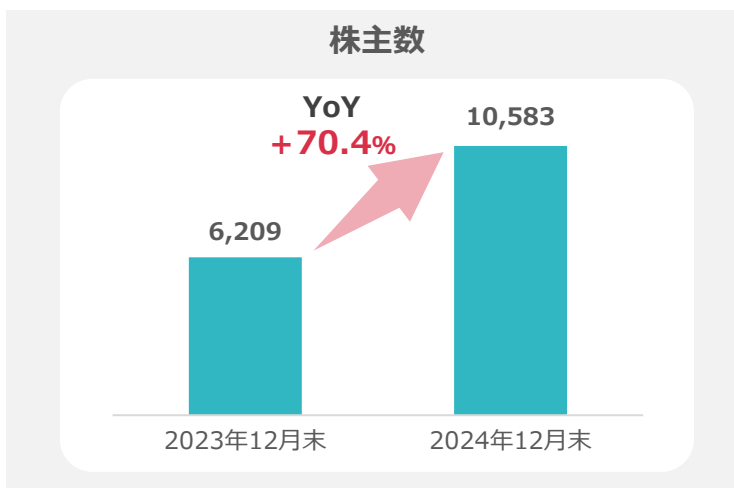


2025年12月31日基準株主優待内容

保有株式数	株主優待対象の暗号資産内容
100株以上 300株未満	- イーサリアム（ETH） 2,500円相当 - ジパングコイン（ZPG） 2,500円相当 合計 5,000円 相当
300株以上	- イーサリアム（ETH） 10,000円相当 - ジパングコイン（ZPG） 10,000円相当 合計 20,000円 相当



2024年度株主優待導入の効果



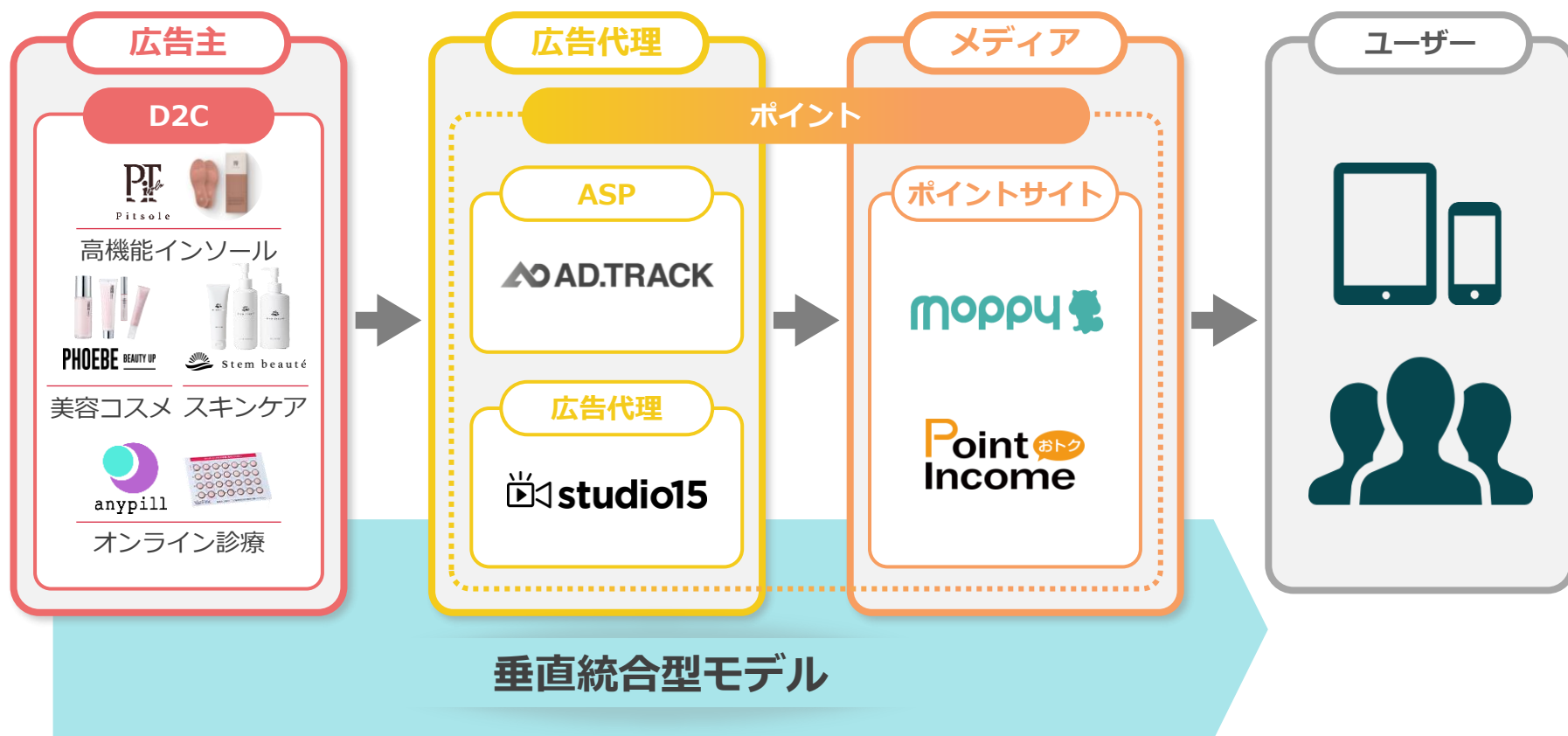


2. 各事業の業績

モバイルサービス事業

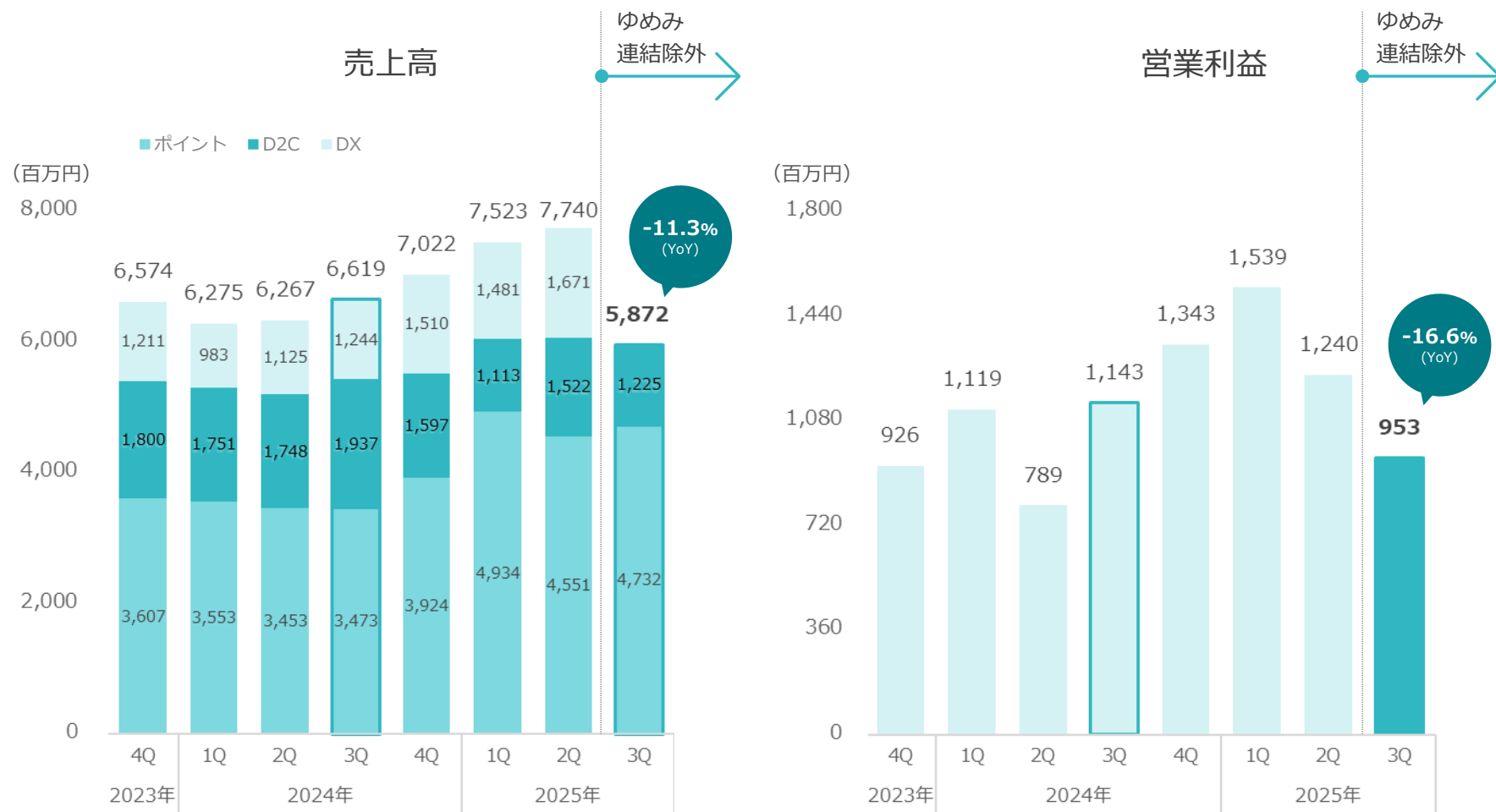
フィナンシャルサービス事業

グループ内で広告主・広告代理・メディアを連携させ、一気通貫のモデルを構築



モバイルサービス事業における**垂直統合型モデル**を構築することで
グループ内に利益をとどめ、強固な競争優位性を確立

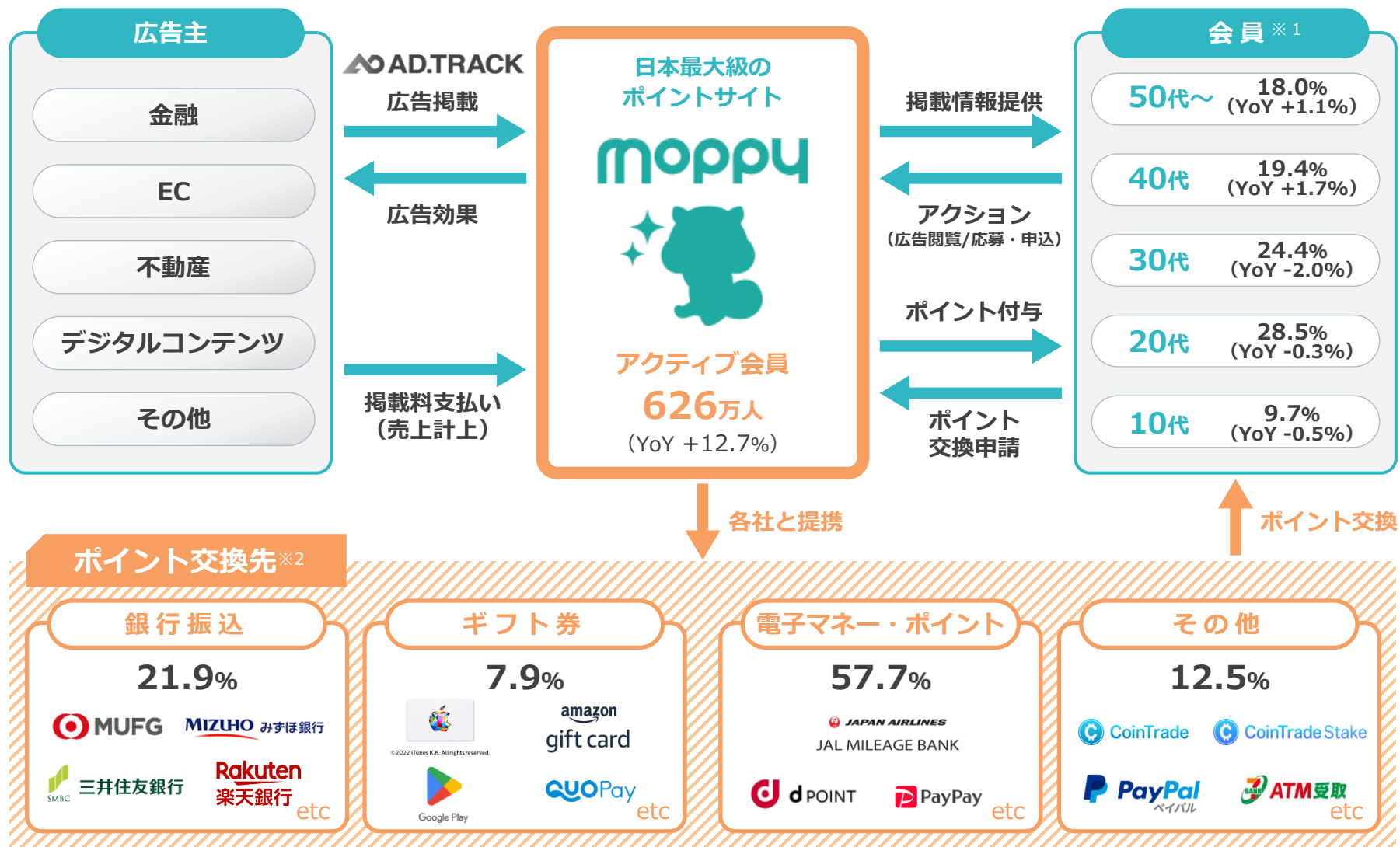
モッピー・AD.TRACKが大幅増収、業績予想に対する利益進捗も順調 ゆめみ連結除外後は垂直統合型モデル強化により収益性向上を狙う



※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

※ Point Incomeの業績は2025年9月1日から「ポイント」に含みます。

モッピーのビジネスモデル



※1 2025年9月末日時点の割合

※2 2025年7～9月に発生したポイント交換割合

基本情報

暮らしを **おトク** にかえていく
Point Income

サービス開始	2006年9月28日
会員数	累計会員数約590万人
広告掲載数	約3,000件

公式キャラクター（一部）



広告主

金融

EC

デジタルコンテンツ

不動産

その他

ポイント交換先

銀行振込 14.7%

ギフト券 29.7%

電子マネー・
他社ポイント 55.0%

その他 0.6%

売上高（M&A前）

（百万円）

3,263

3,591

3,349

2022年

2023年

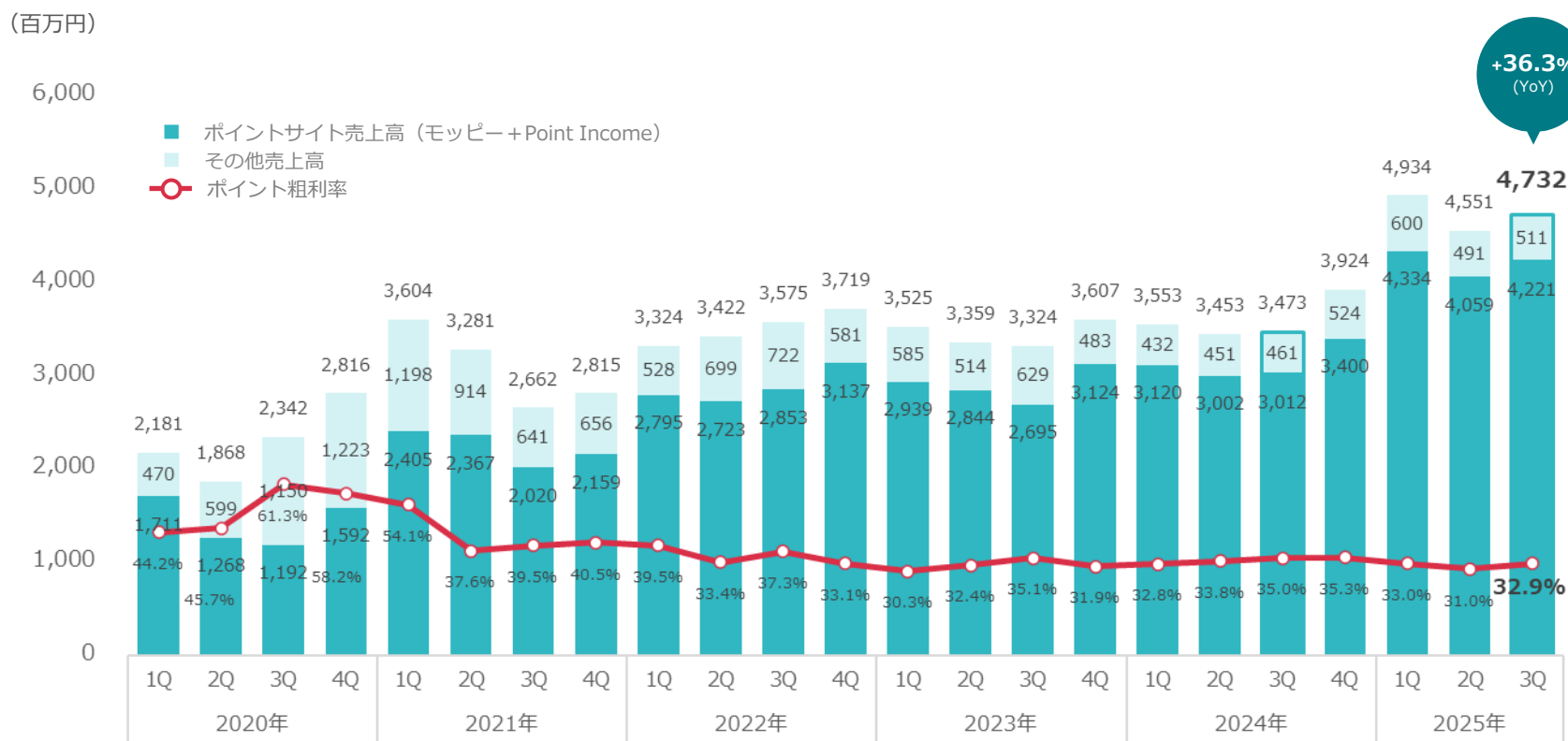
2024年

粗利率
7.6%

※ 売上高・粗利率は監査法人による監査を受けていない参考数値です。

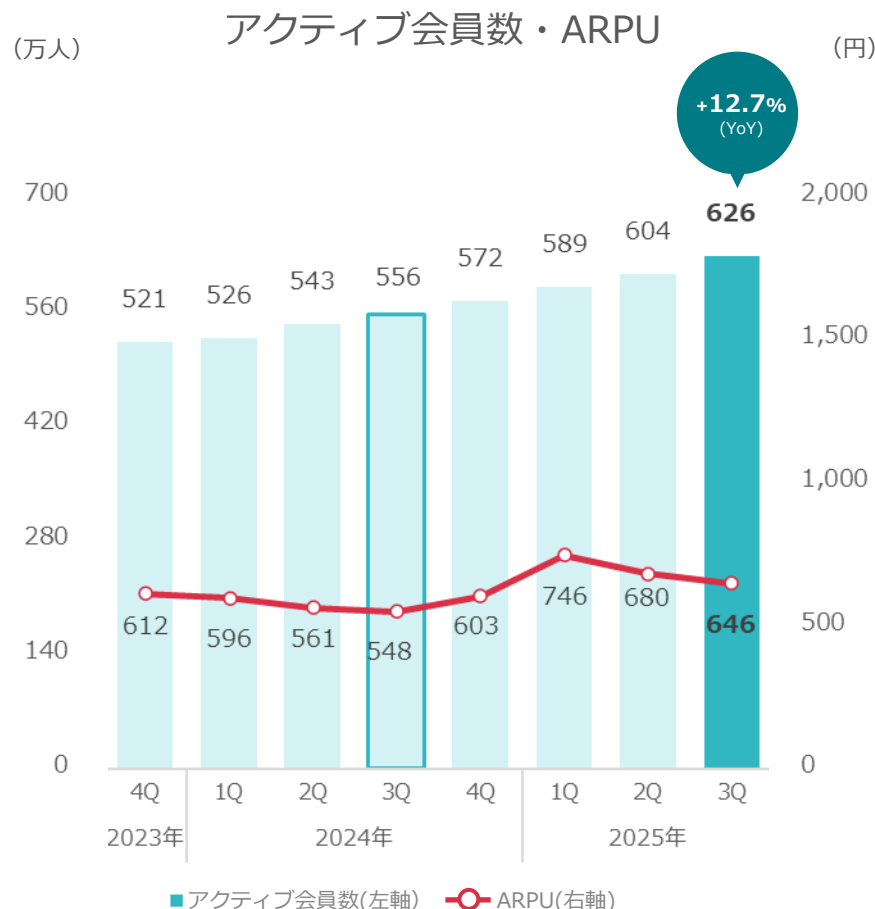
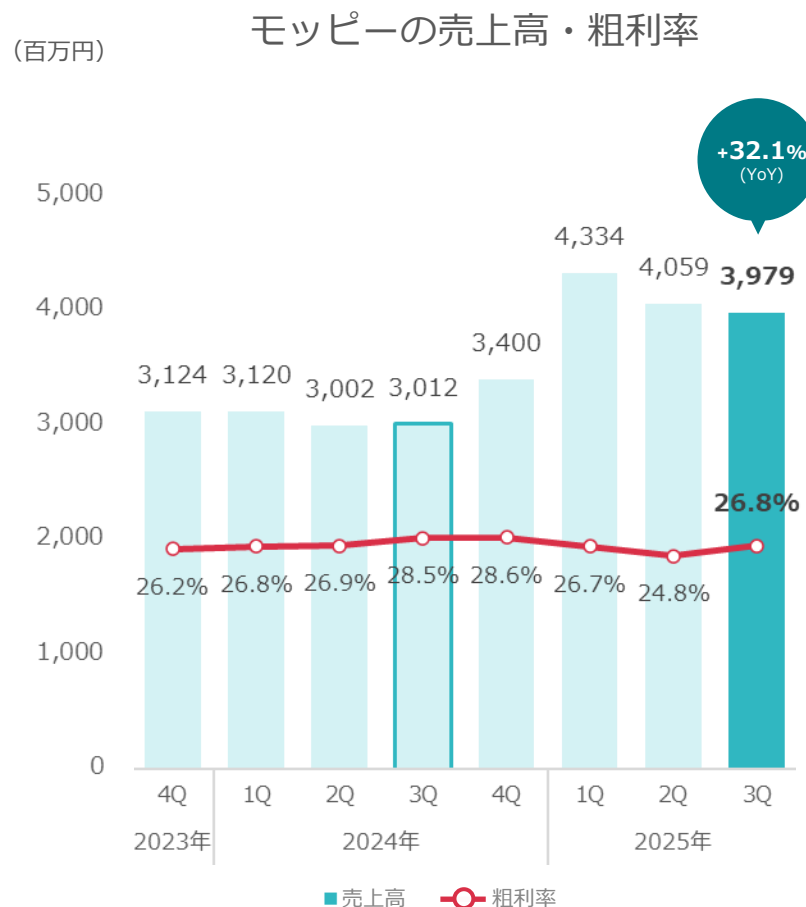
ポイントサイト売上高はモッピー好調、Point Income連結化し40.1%増収
 その他売上高はAD.TRACKと不動産メディアの営業力強化により10.9%増収

ポイント売上高・粗利率



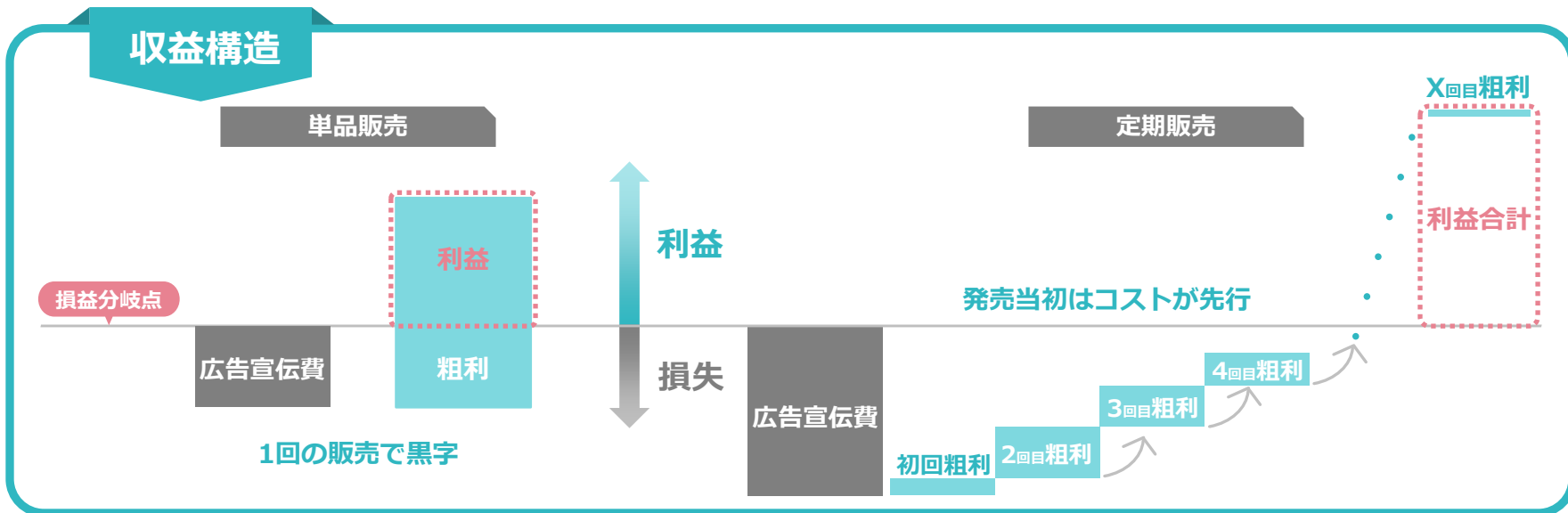
※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。
 ※ 「ポイントサイト売上高」には、9月1日に連結化したPoint Incomeを含んでおります。
 ※ セグメント内区分の変更により2021年度以前のモバイルサービス事業の内訳を修正して記載しております。
 ※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

金融案件好調継続に加え、EC関連物流額も過去最高を更新し高い増収率を維持
インフルエンサーマーケティングの強化や会員の登録導線の改善が奏功し新規会員数増加

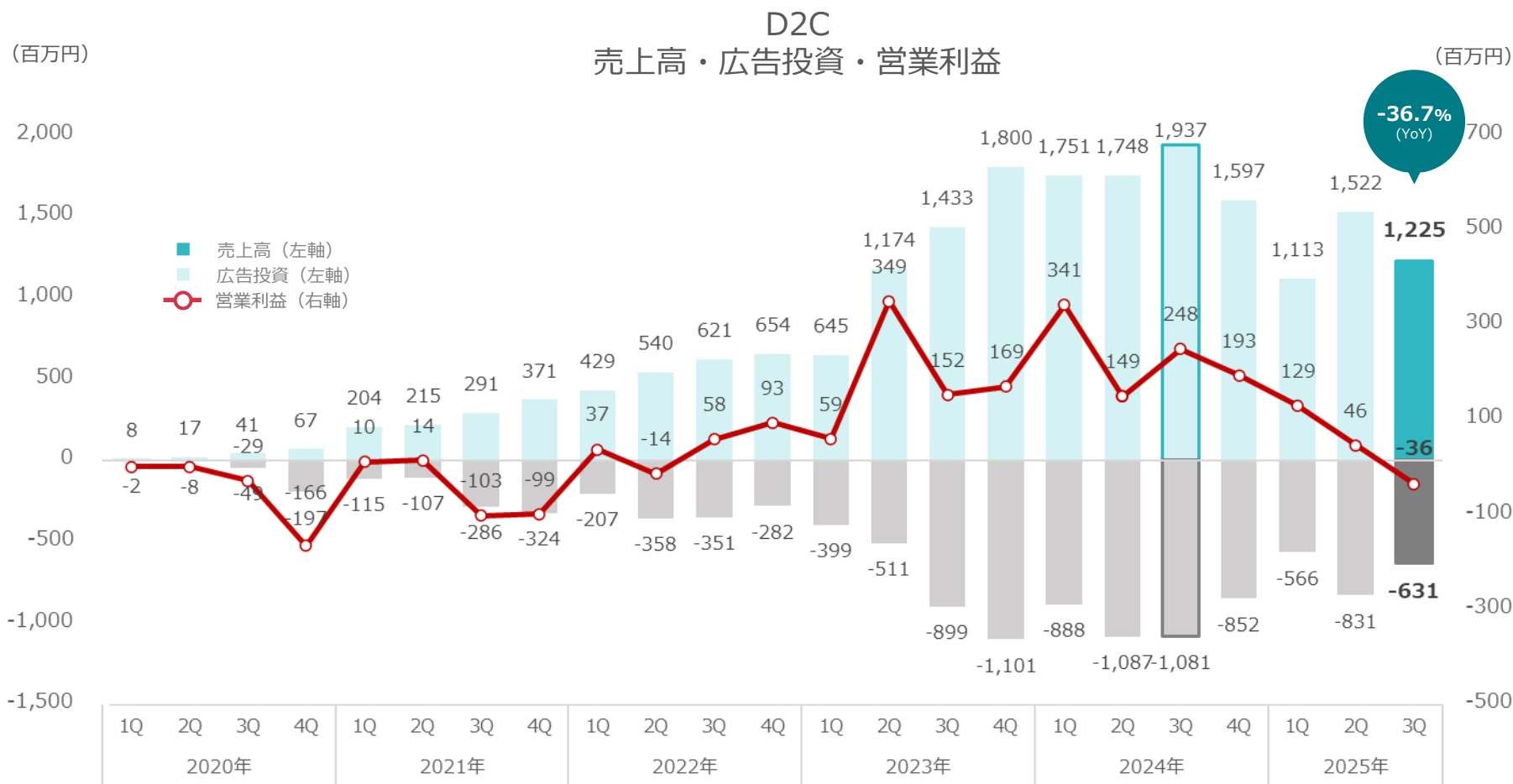


※ アクティブ会員数は、メールアドレス受信可能な会員数です。
※ ARPUは、モッピーの四半期売上高を期中平均のモッピーアクティブ会員数で除して算出しております。

D2Cは卸・小売など中間業者を通さず直接消費者に商品を届けるモデル
単品販売は1回の販売で粗利を確保、定期販売商品は発売当初はコスト先行



主力のピットソールは価格改定によるプロモ施策の見直しで販売が一時的に停滞
使用期限切れの一部商品在庫に対する評価損を約75百万円計上し減益



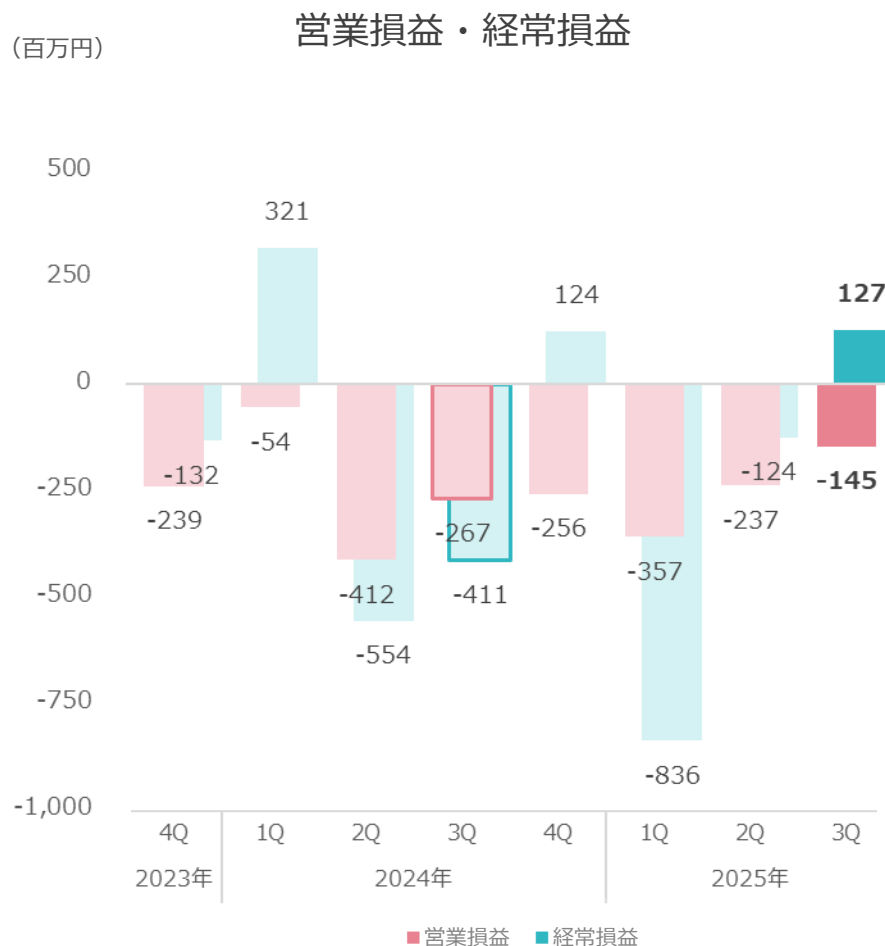
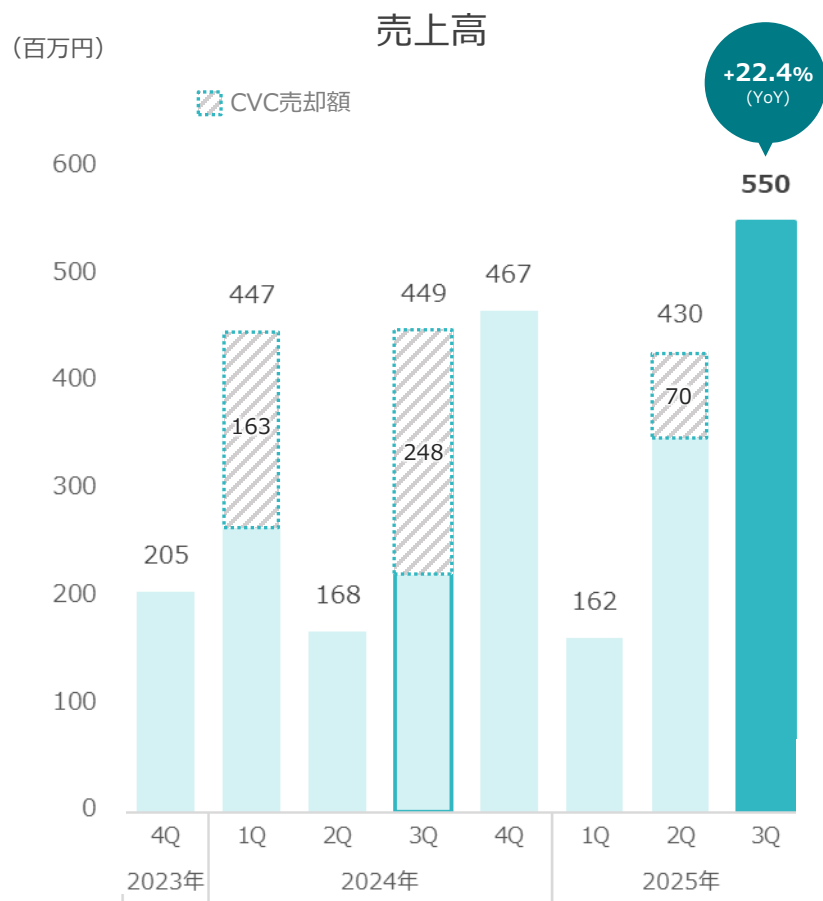


2. 各事業の業績

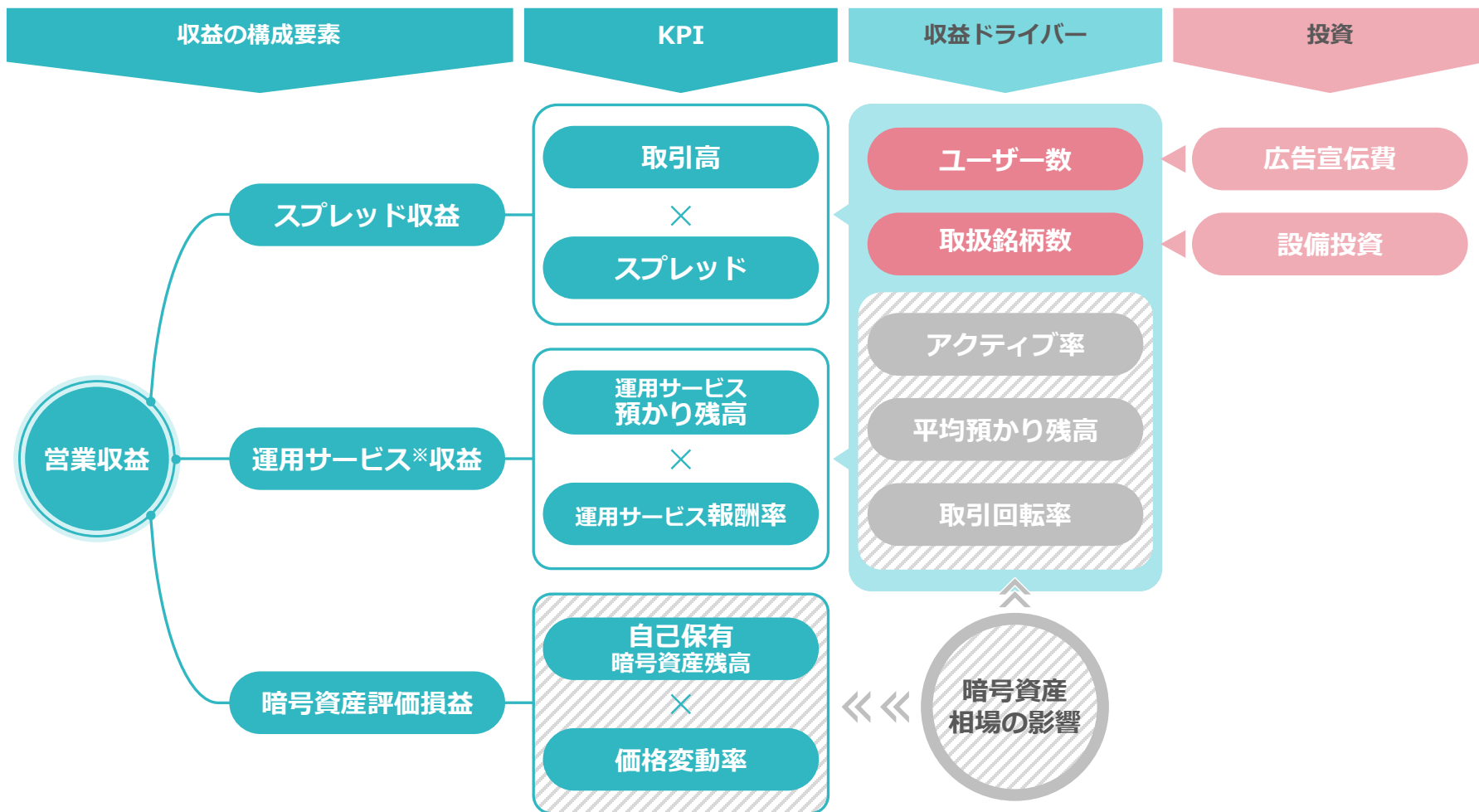
モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

ラボル・MQ大幅増収、前年のCVC売却額を除くと売上高は約2.7倍に伸長
MQ先行投資で赤字だが、BB持分法利益272百万円を計上し前年比で経常増益

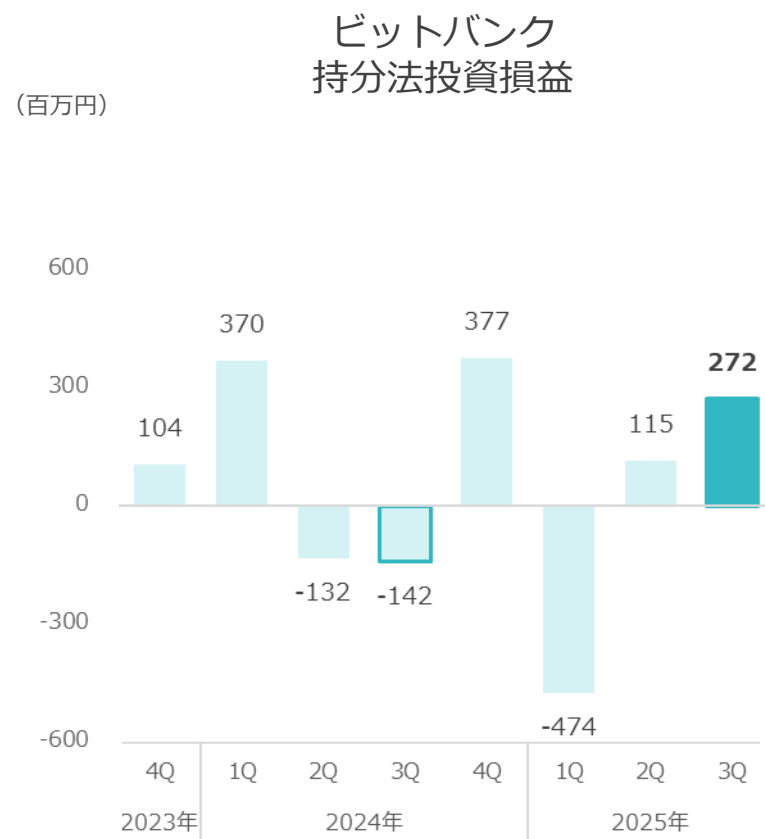
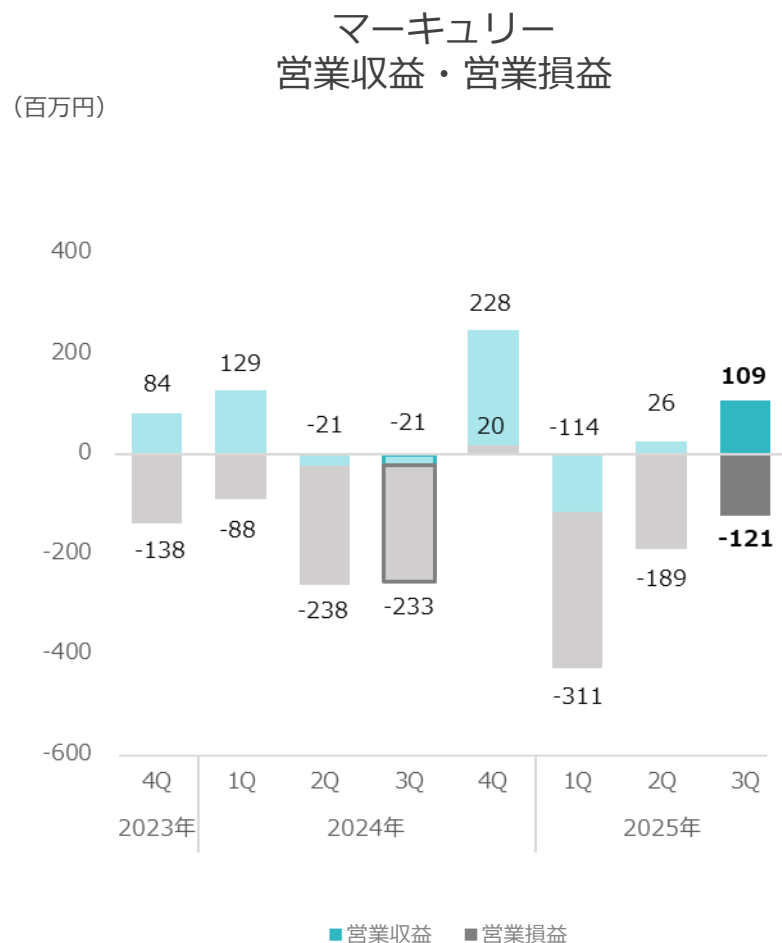


営業収益はスプレッド収益・運用サービス収益・暗号資産評価損益で構成
収益ドライバーであるユーザー数増加、取扱銘柄数拡充のため積極投資を継続



※ 運用サービス：ステーキング+レンディング

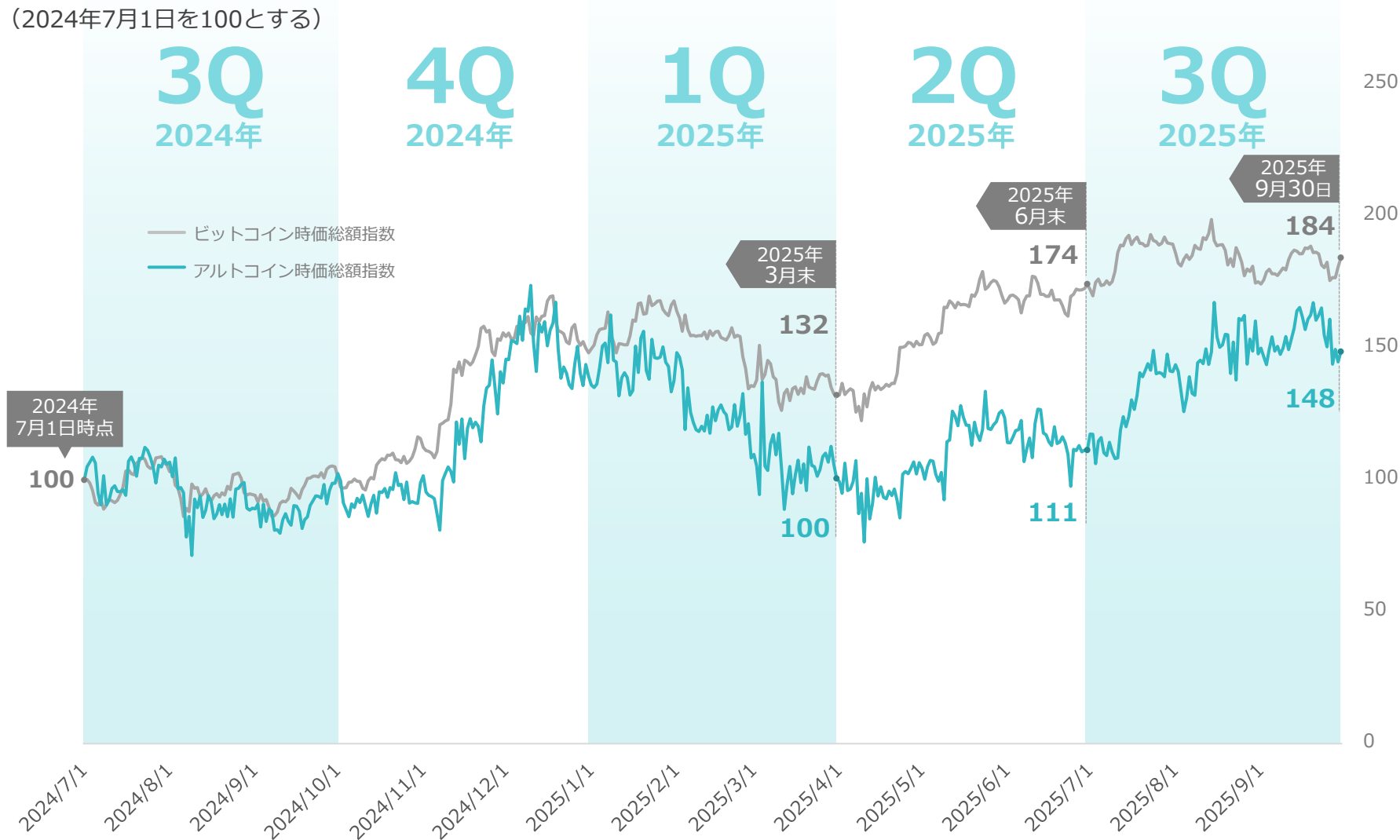
マーキュリーはメインで取扱うアルトコインの価格上昇により増収・赤字幅縮小
ビットバンクは3Qでは持分法投資利益を計上したが累計では業績予想比下振れ



暗号資産の時価総額指数

ビットコインとアルトコインの時価総額指数化チャート

(2024年7月1日を100とする)



※ 出所：CoinGeckoよりセレス作成（2025年10月1日時点）



APPENDIX

APPENDIX

会社概要

創業20周年を次の成長への新たな出発点と位置づけMVVを再定義
変化の時代に挑戦と進化を重ね次の20年を見据えた持続的成長と価値創造を実現

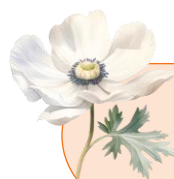
MISSION

価値の**開花**、未来**豊穡**

VISION

インターネットマーケティングを通じて
豊かな世界を実現する

VALUES



本質

挑戦を楽しみ、未来視点で
長期的価値を生み出す
仕事を生産する。



挑戦

よく観察し、
表面的な価値に惑わされ
ない目を持つ。



循環

成功と失敗を知識に変え
成果を分け合い、
の可能性を育てる。



没頭

多くの仕事に本気で向き合い、
ハマれる自分であること。

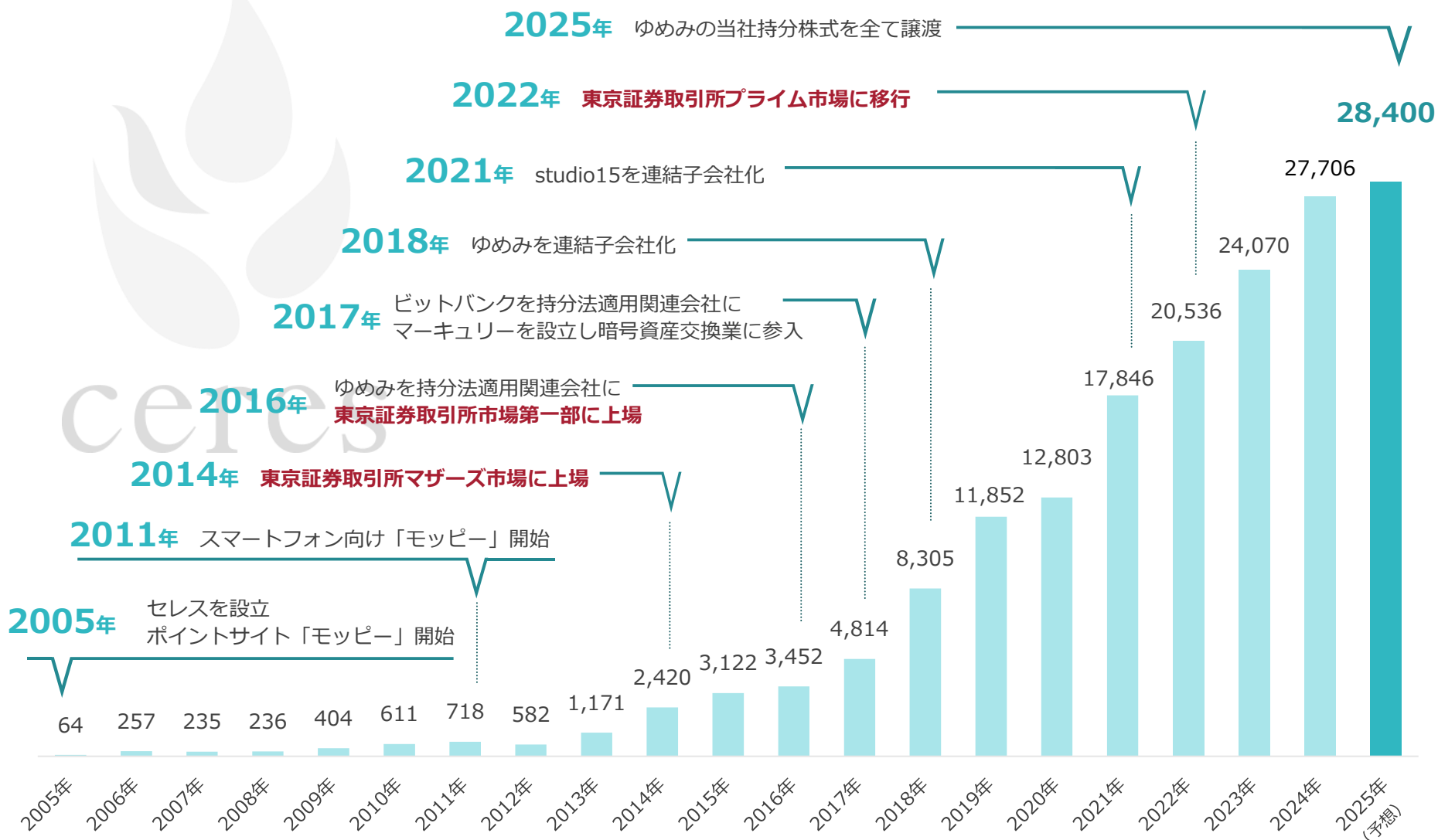


感情

選択は合理的に、実行は情熱的に。
どんな仕事にも
クリエイティビティを忘れない。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー21F
決算期	12月
資本金	21億5,889万円（2025年9月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	353名（2025年9月末／臨時雇用者除く）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社※	株式会社マーキュリー、株式会社ディアナ、株式会社バックス、studio15株式会社、株式会社サルス、株式会社アポロ・キャピタル、株式会社ラボル、DINETTE株式会社 等
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社

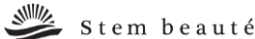
※ 株式会社ゆめみは、2025年5月30日をもって当社持分の全株式を譲渡いたしました。



※ 売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定して記載しております。

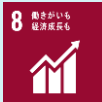
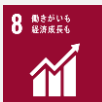
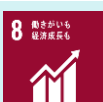
売上高 (単位: 百万円)

成長モデルの異なる事業を組み合わせ持続可能な事業ポートフォリオを構築 事業の集中と選択を推進し、垂直統合型の高収益事業の基盤を強化

	セグメント	運営会社	サービス		
モバイルサービス	ポイント	株式会社セレス studio15株式会社	 	 	 
	D2C	株式会社ディアナ 株式会社バックス 株式会社サルス DINETTE株式会社 株式会社イシス	  	 	
フィナンシャルサービス	ブロックチェーン	株式会社マーキュリー ビットバンク株式会社			
	オンライン ファクタリング	株式会社ラボル			
	CVC (投資育成事業)	株式会社アポロ・キャピタル			

サステナビリティ経営における7つのマテリアリティ

特に注力して取り組むテーマである「7つのマテリアリティ」 サステナビリティ経営においてこれまでのESG戦略を一層強化

マテリアリティ		関連するSDGs					
1	自社サービスを通じた豊かな社会の実現への貢献						
2	オープンイノベーションによる11社会課題解決・経済発展への貢献						
3	デジタル広告の公正な運用と業界の健全な発展への貢献						
4	環境に配慮した製品・サービスの提供						
5	多様な人材の活躍						
6	情報セキュリティとプライバシー						
7	コーポレートガバナンスの強化						

※サステナビリティサイトURL : <https://ceres-inc.jp/csr/>

「インターネットマーケティングを通して豊かな世界を実現する」を前提に、事業活動を通じて、社会的価値・経済的価値の創出を継続していく

主な取り組み

女性のエンパワーメント原則（WEPS）に署名賛同（2025年8月）

- ジェンダー平等と多様な働き方を推進
- 女性活躍推進とダイバーシティへの取り組みを加速し、社会全体のウェルビーイングに貢献していく

In support of

WOMEN'S EMPOWERMENT PRINCIPLES

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office

SBT認定取得に向けたコミットメントを表明（2025年7月）

- 科学的根拠に基づく脱炭素経営でSDGs達成に貢献していく
 - ・ 短期目標：2030年 GHG排出量Scope1+2 100%削減
 - ・ 長期目標：2050年 Scope1+2+3におけるGHG排出の実質ゼロ
- 事業活動の脱炭素化を加速し、経済成長と環境負荷低減の両立を目指す

自社サービスを通じた貢献

モッピーを通じた活動

「モッピーSDGs」

NGO・NPO団体と連携し、ポイント寄付を通じて、SDGs達成を支援

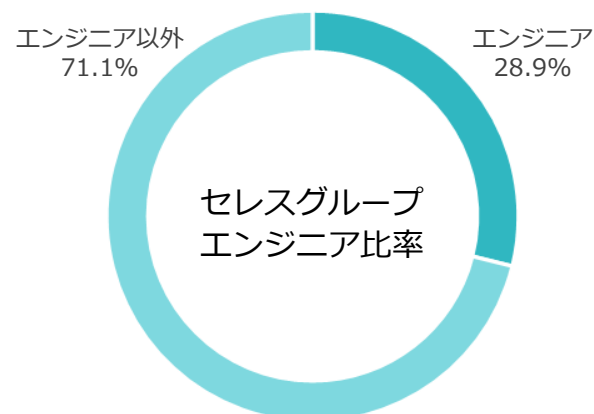
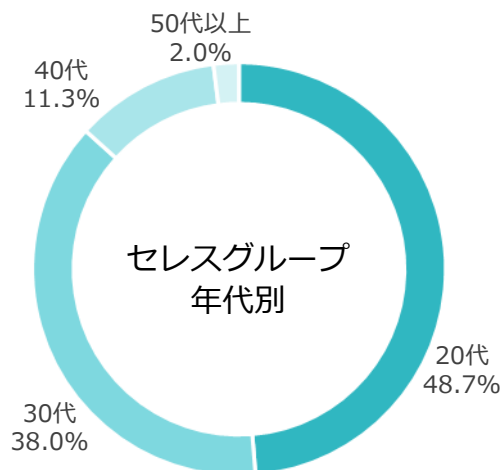
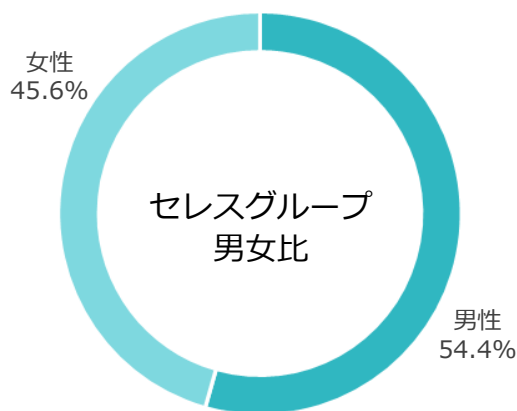
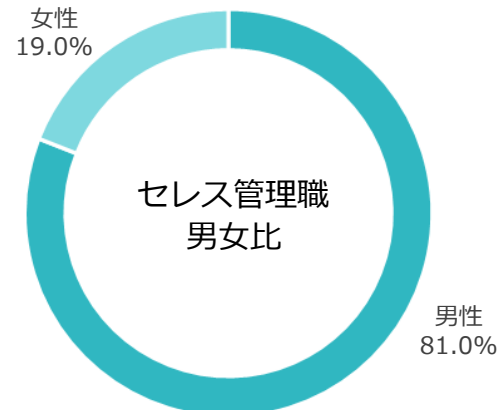
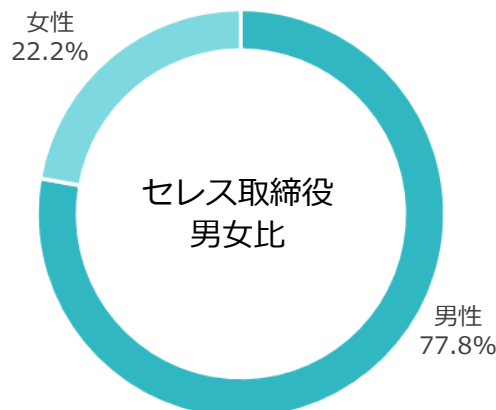
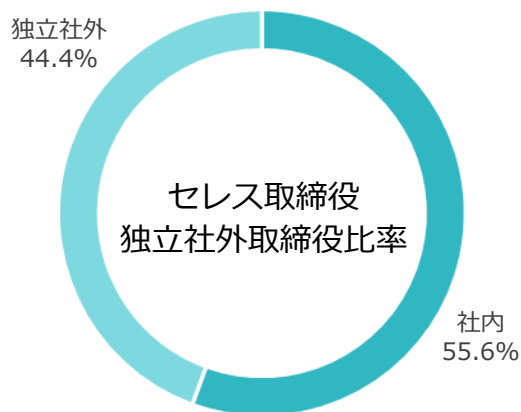


宅配買取サービス 「モッピーリユース」

循環型社会の構築と廃棄物削減に貢献



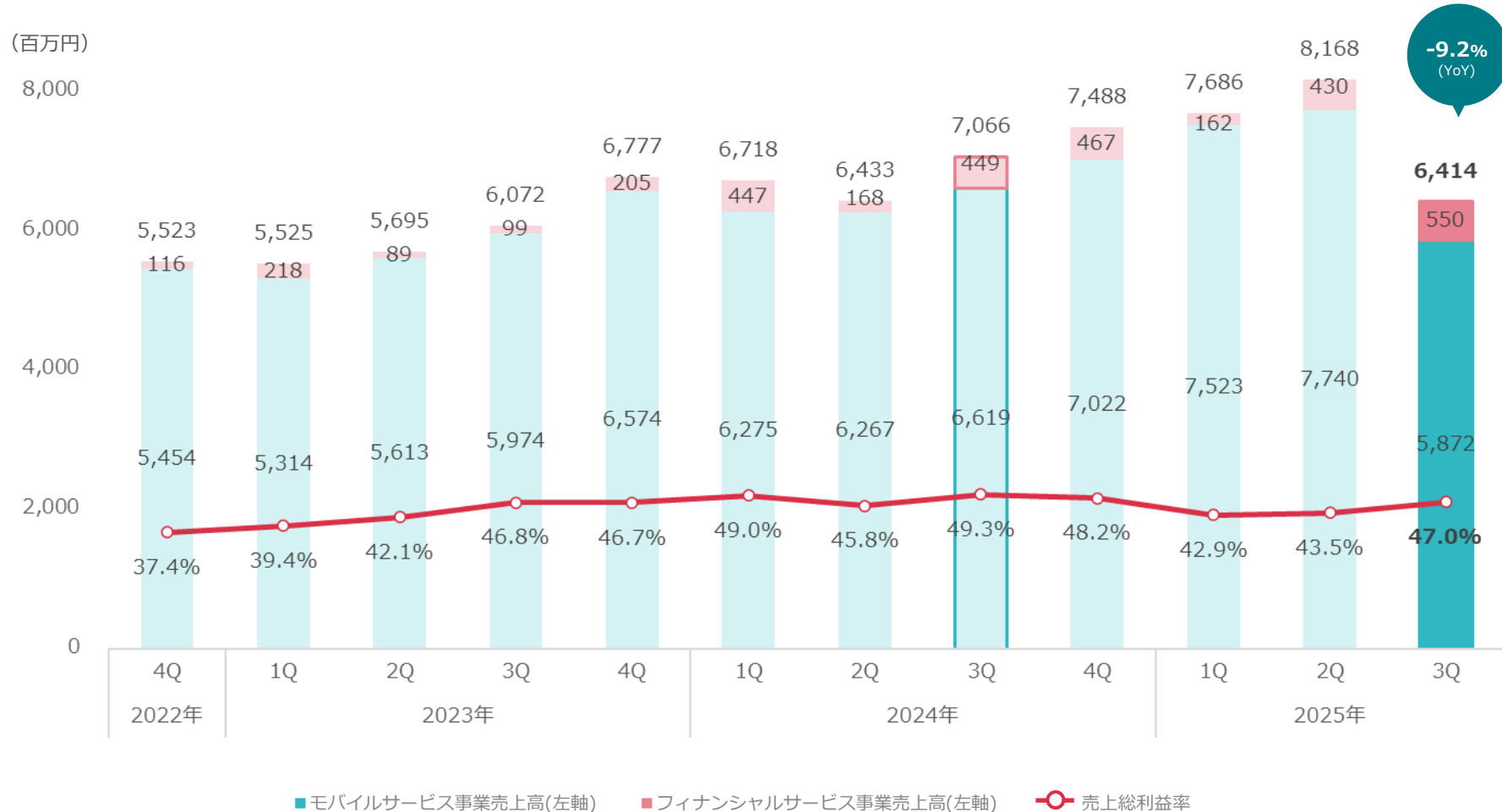
取締役の多様化推進を目的に、エンジニア経験を持つ女性取締役を選任 ゆめみ連結除外による事業ポートフォリオの変化に伴いエンジニア比率は低下



APPENDIX

業績推移

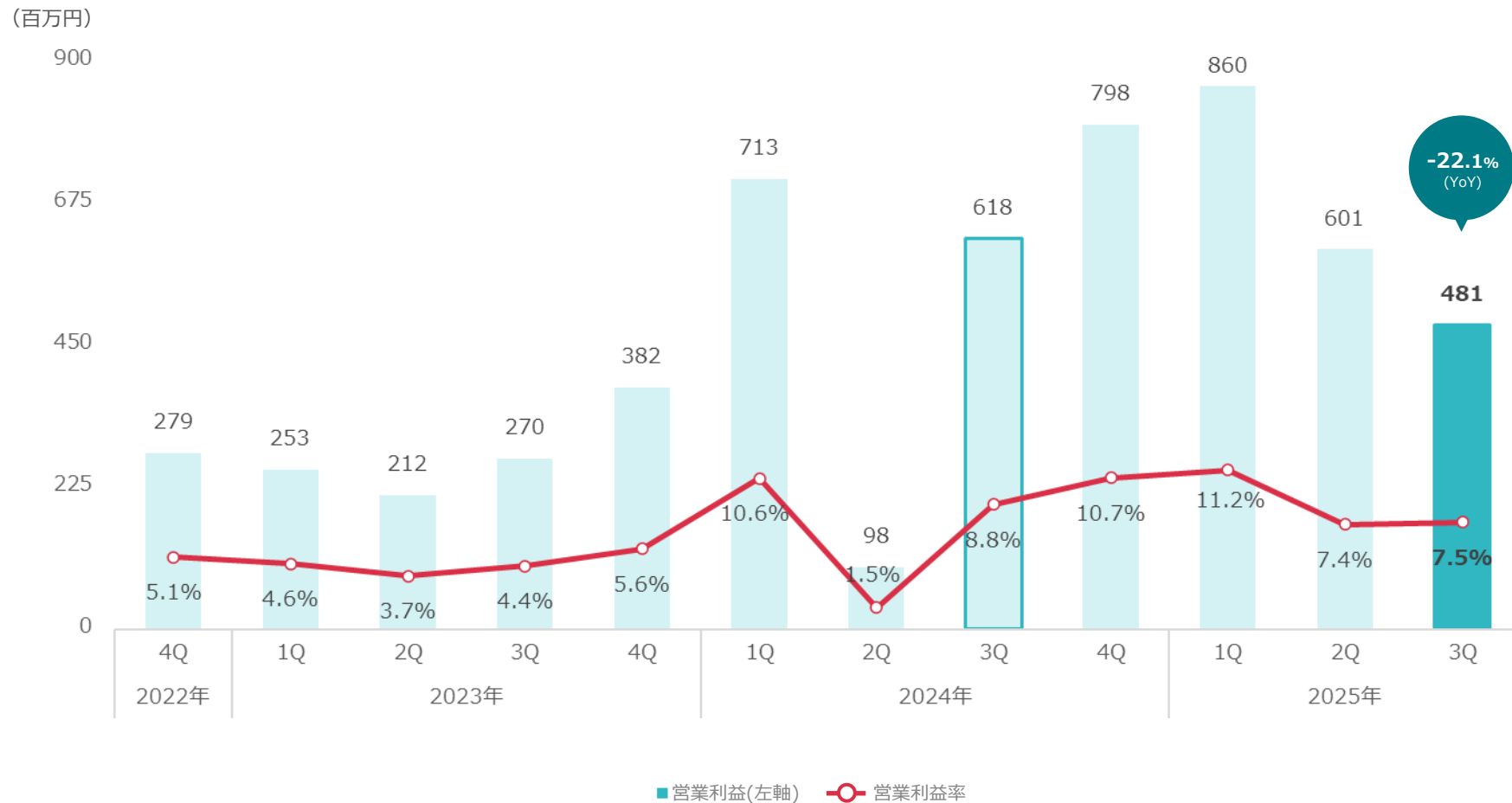
四半期売上高推移



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

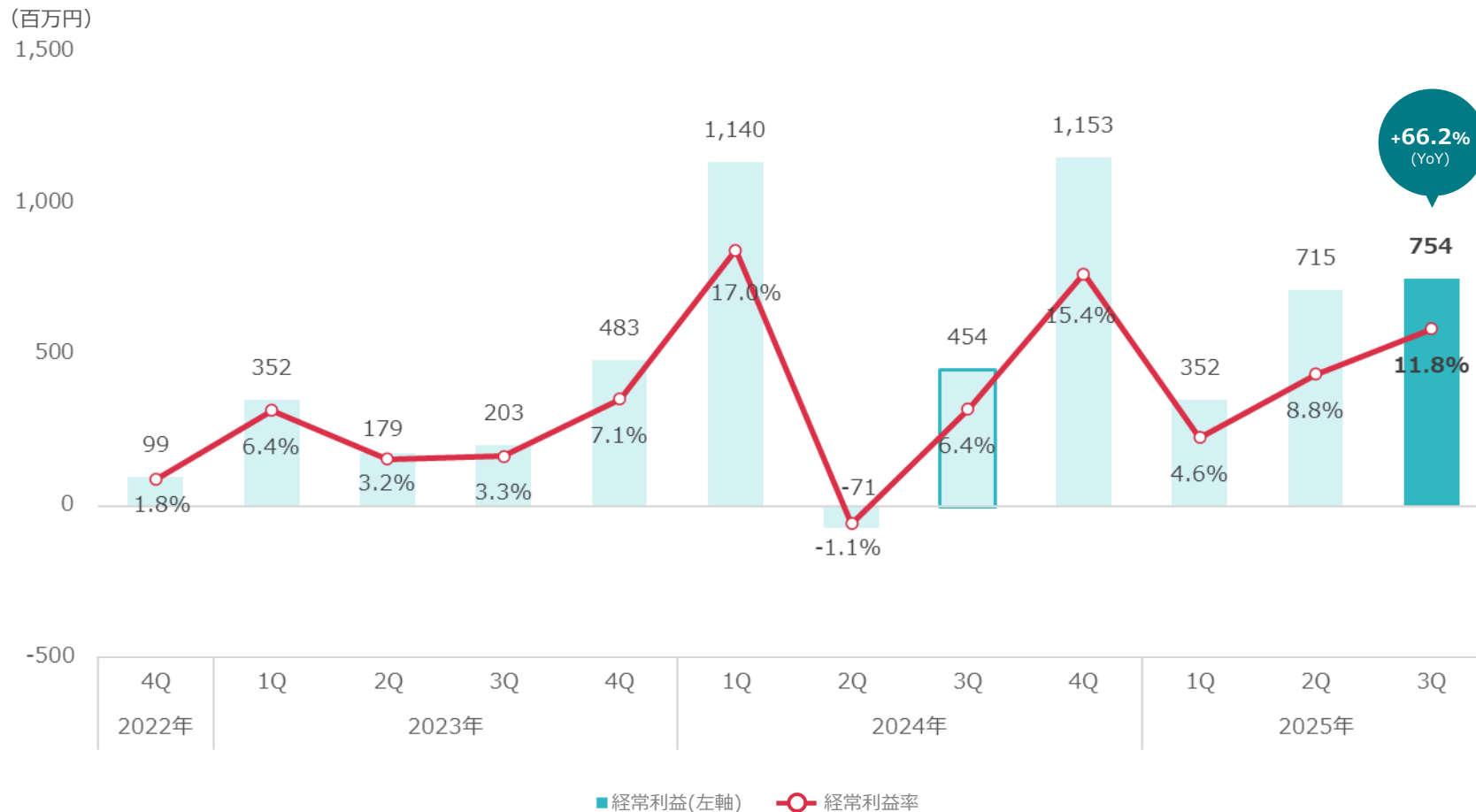
※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

四半期営業利益推移



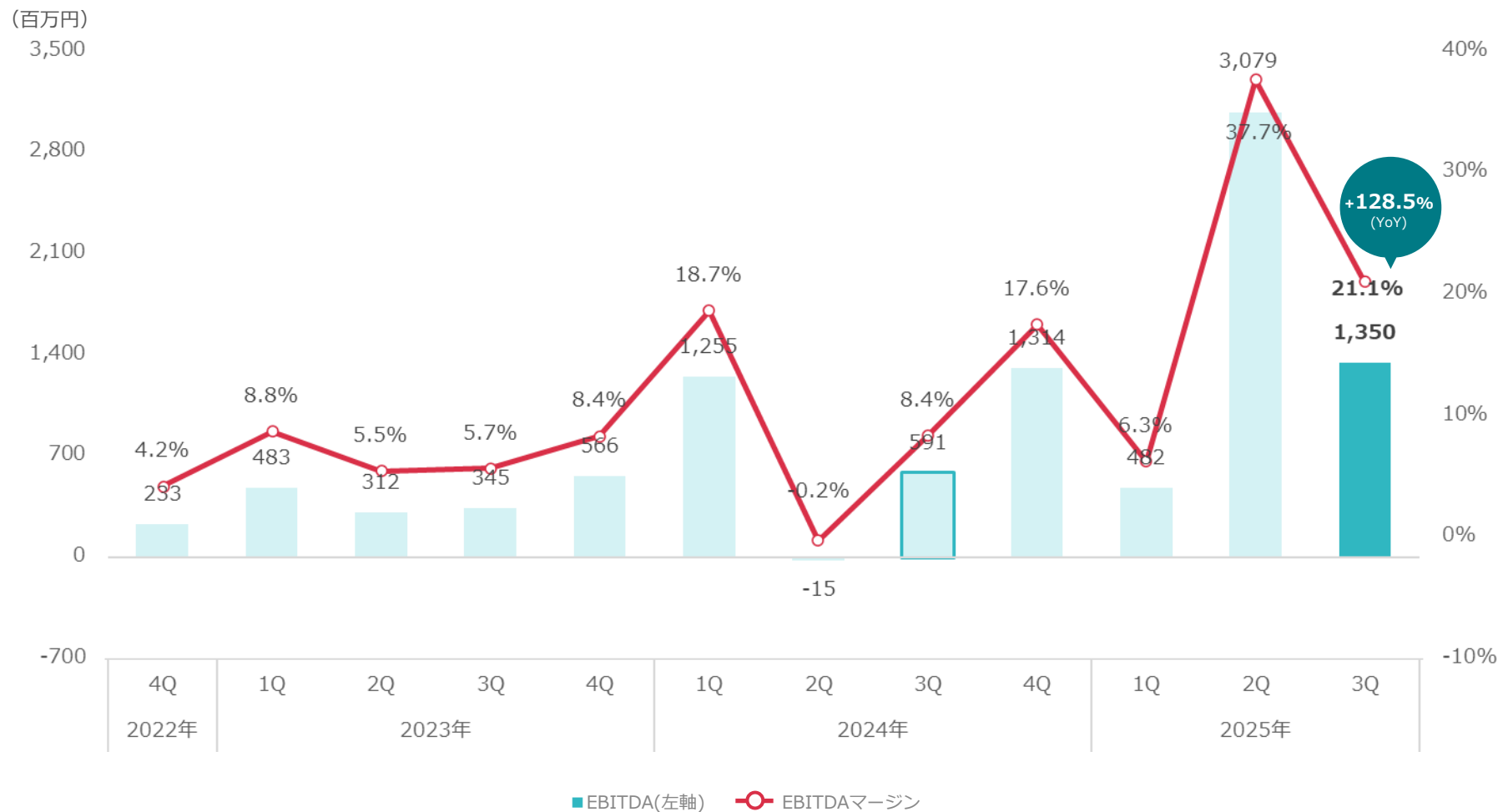
DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期経常利益推移



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

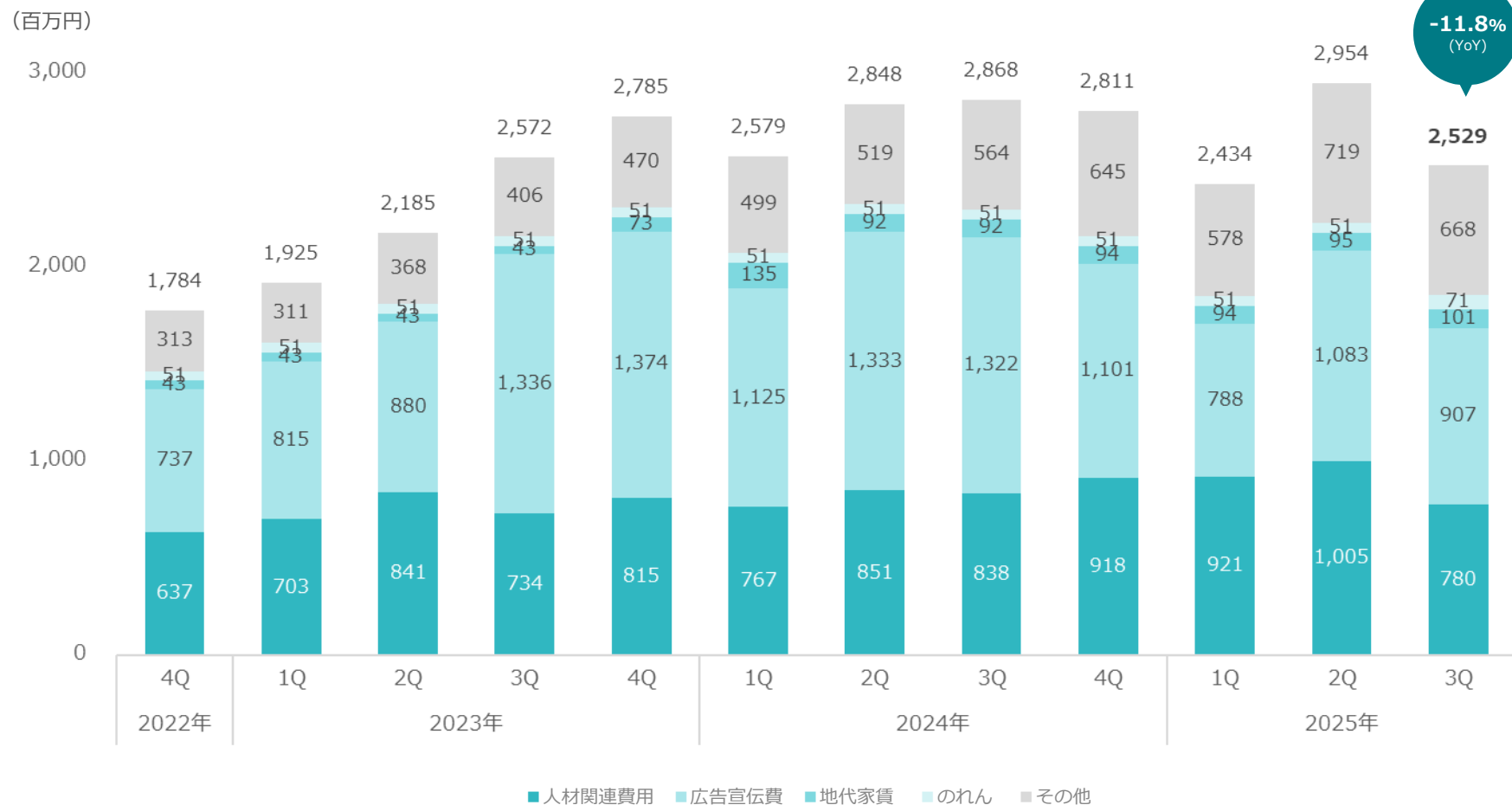
四半期EBITDA推移



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

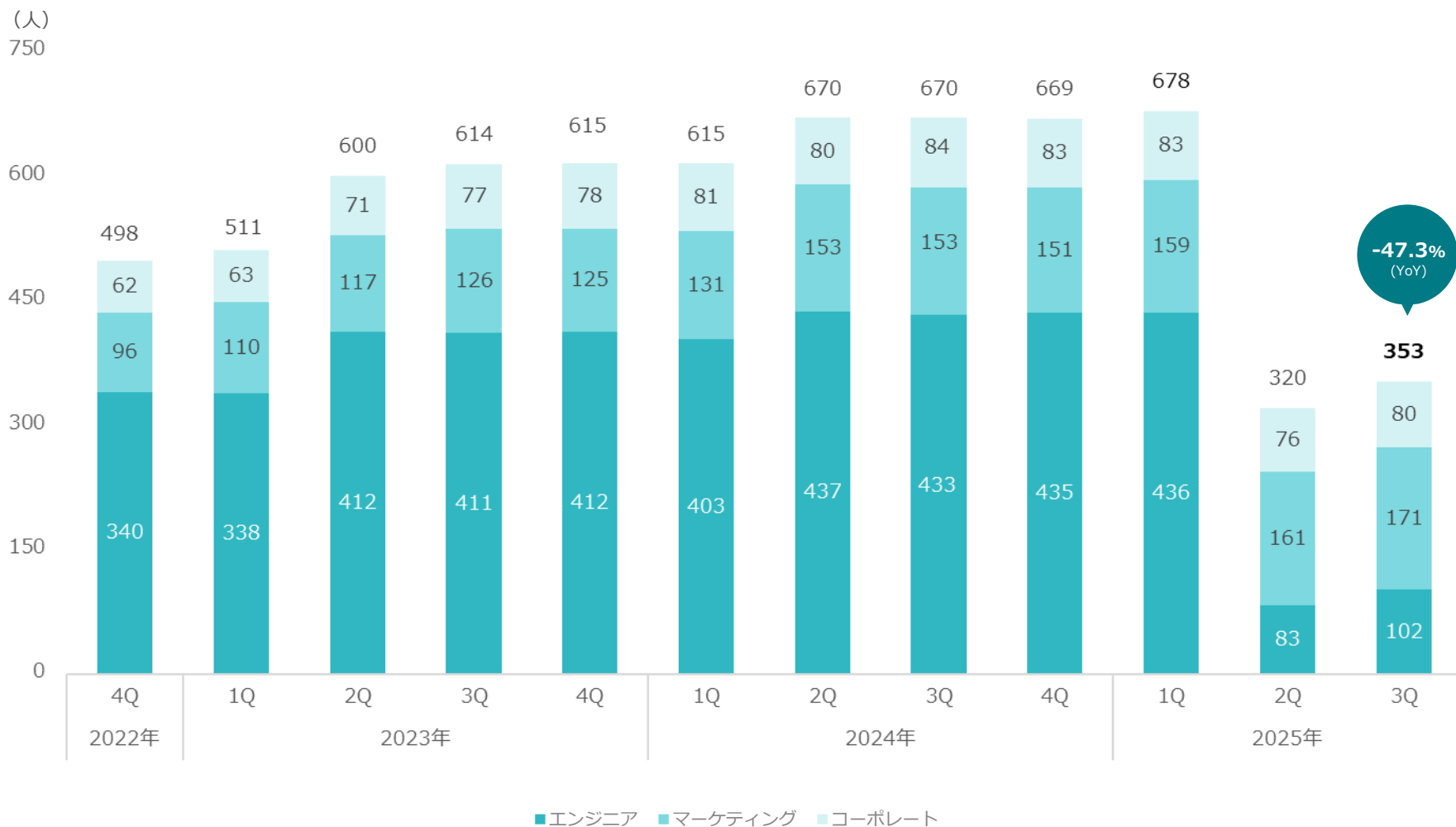
※ EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 評価損

四半期販売費及び一般管理費推移



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

従業員数推移



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

※ 契約社員、派遣社員、アルバイト は含んでおりません。

四半期売上高

(単位：百万円)	2023年		2024年				2025年		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	6,072	6,777	6,718	6,433	7,066	7,488	7,686	8,168	6,414
モバイルサービス事業	5,974	6,574	6,275	6,267	6,619	7,022	7,523	7,740	5,872
ポイント	3,324	3,607	3,553	3,453	3,473	3,924	4,934	4,551	4,732
D2C	1,433	1,800	1,751	1,748	1,937	1,597	1,113	1,522	1,225
DX	1,250	1,211	983	1,125	1,244	1,510	1,481	1,671	-
セグメント内取引高	-32	-45	-13	-60	-35	-10	-7	-4	-85
フィナンシャルサービス事業	99	205	447	168	449	467	162	430	550
セグメント間取引高 / 調整額	-1	-2	-4	-3	-2	-1	-0	-2	-8

四半期営業利益

(単位：百万円)	2023年		2024年				2025年		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業利益	270	382	713	98	618	798	860	601	481
モバイルサービス事業	812	926	1,119	789	1,143	1,343	1,539	1,240	953
フィナンシャルサービス事業	-263	-239	-54	-412	-267	-256	-357	-237	-145
調整額	-279	-304	-351	-278	-257	-289	-321	-401	-326



将来見通しに関する注意事項

- 本資料に含まれる業績予想、計画、戦略等は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断される一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、経済情勢、市場環境、規制変更、競合動向、為替変動などにより、記載内容と大きく異なる可能性があります。
- 法律により要求される場合を除き、当社は本資料の内容を更新または修正する義務を負いません。
- 投資に関する最終判断は、本資料及び関連情報をご確認のうえ投資家ご自身の責任において行ってください。本資料に基づく投資により生じた損害について当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。